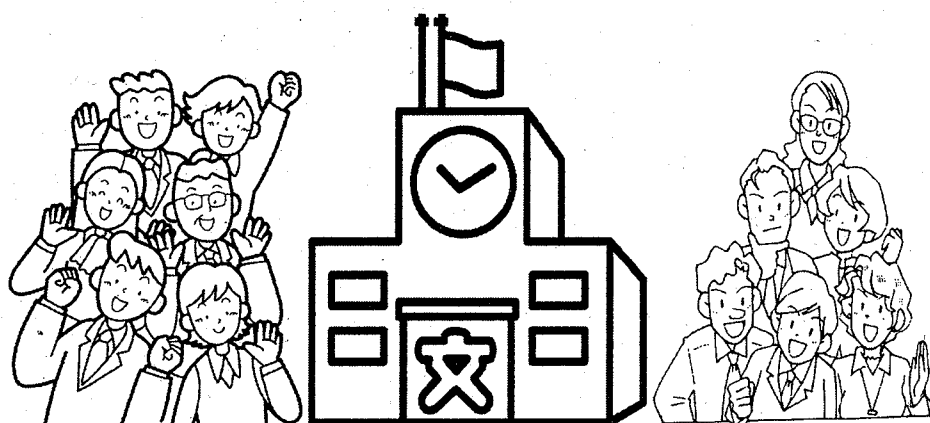


学校支援センター運営推進事業資料

学校支援センター運営推進事例集



平成19年3月

群馬県教育委員会

はじめに

群馬県教育委員会では、学校・家庭・地域が一体となって子どもたちの健全育成に取り組めるようにするために、地域の教育力の有効活用を推進し、保護者や地域の方々にボランティアとして学校教育の諸活動に協力していただく拠点となる「学校支援センター」の設置をお願いしてきました。

平成18年度は、学校支援センターの運営推進を図るために、モデル地区として県内11地区を指定して嘱託員を配置するとともに、学校支援センターの運営やコーディネーター養成等に係る研修会を開催してきました。また、ボランティアの方々が安心して活動できるよう、県としてボランティア活動保険に加入しました。

現在、学校支援センターは、各市町村教育委員会及び全ての小・中・養護学校の御協力をいただき、平成18年5月1日現在において、設置率が92.7%となっております。また、平成17年度ボランティア活動に協力していただいた延べ人数は、92,000人以上であり、ボランティアの方々に御協力いただくことの意義が、学校・家庭・地域で認識されてきています。

そこで、今後は各学校で次の2点について取組をお願いいたします。

1点目は、学校の教育活動の中で、「どのような場面で」「どのような時に」ボランティアの方々に協力していただくことが効果的であるのか、各学校で具体的な活用を踏まえて検討をお願いしたいということです。

2点目は、学校や地域の実態に応じた学校支援センターの形態を工夫していただきたいということです。そして、可能であれば、各学校においてコーディネーターやボランティアリーダーを育成するなど、学校支援センターが、地域の方々に支えられた自主的な運営を推進していけるよう取り組んでいただけたらと考えています。このことにより、学校とボランティアとが協力して、教育活動の一層の充実を図ることができるのではないかと考えます。

おわりに、本資料の作成並びにこれまでの学校支援センターの運営推進に御尽力いただいている関係各位に感謝申し上げますとともに、今後の御協力をお願い申し上げます。

平成19年3月

群馬県教育委員会

義務教育課長 高德 彰

目 次

1 平成18年度モデル校の取組

・ 前橋市立元総社北小学校	1
・ 伊勢崎市立殖蓮第二小学校	2
・ 玉村町立玉村小学校	3
・ 玉村町立上陽小学校	4
・ 吉井町立吉井西小学校	6
・ 甘楽町立新屋小学校	8
・ 中之条町立名久田小学校	9
・ 沼田市立白沢小学校	10
・ 太田市立木崎小学校	11
・ 館林市立第十小学校	12
・ 玉村町立玉村中学校	13
・ 安中市立松井田南中学校	14
・ 沼田市立白沢中学校	16
・ 桐生市立相生中学校	17

2 参考資料

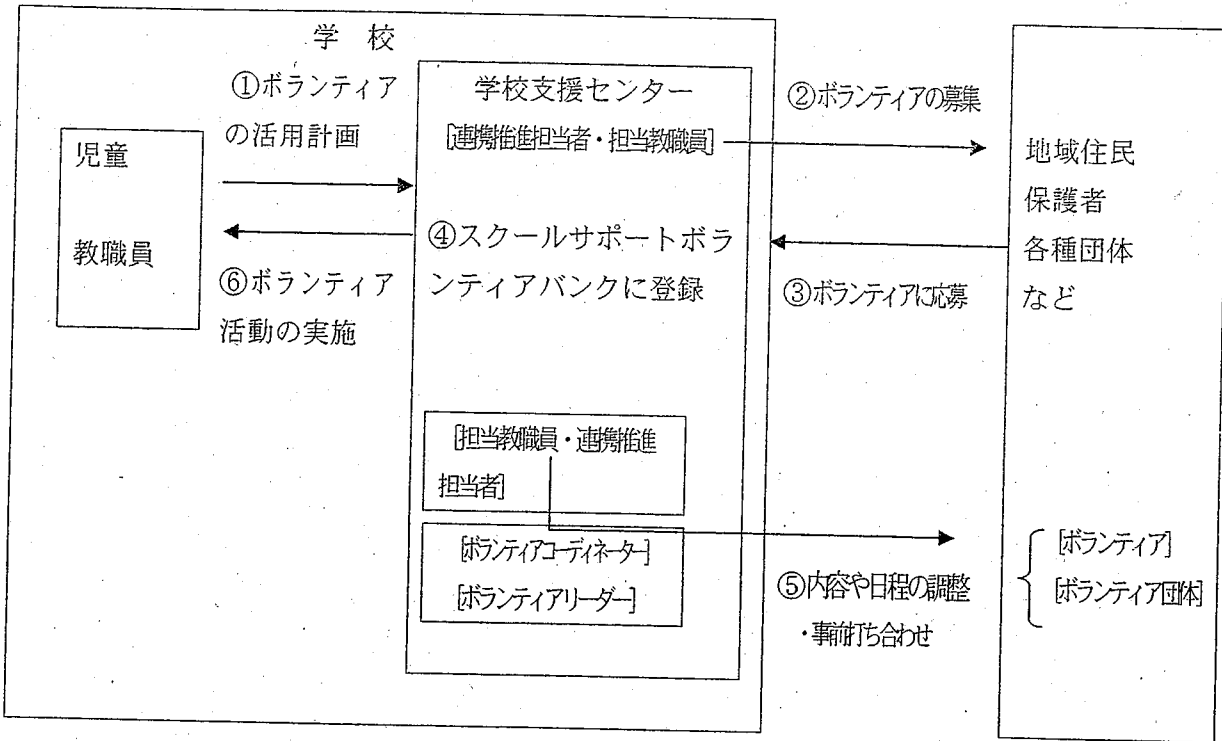
・ ボランティアの募集通知例	19
・ 学校支援ボランティア年間計画表例	20
・ 校内での共通理解例	21
・ 学校支援ボランティアの心得例	22
・ ランティア活動記録例	23
・ 学校支援センターだより例1	24
・ 学校支援センターだより例2	25
・ 平成18年度 地域の教育力の活用状況	26

平成18年度
モデル校の取組

平成18年度 モデル校の取組 (モデル校報告書から抜粋)

【学校名：前橋市立元総社北小学校】

(1) 運営形態

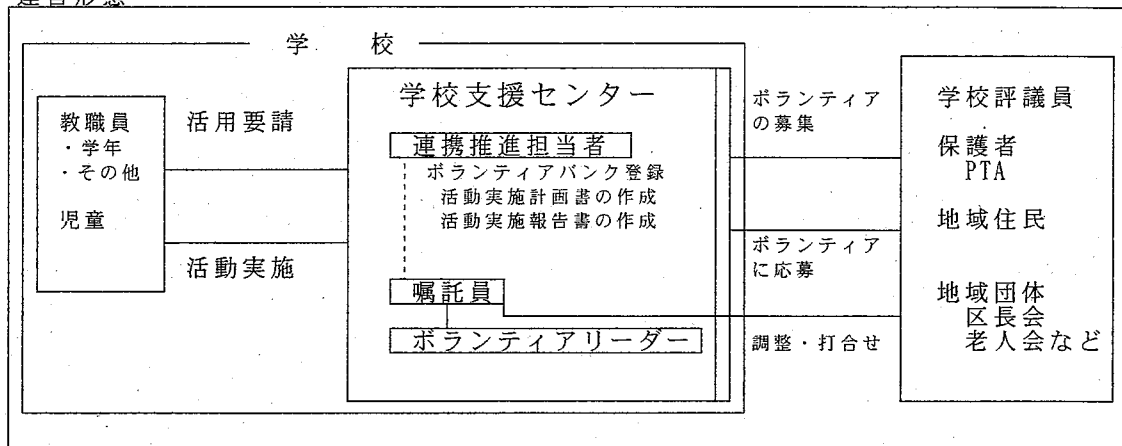


(2) 活動内容

〔活用事例〕	〔効果〕
<p>① 放課後補充学習「寺子屋」(前橋市教育委員会放課後学習支援事業) 毎週月曜2:50~4:10、木曜1:40~4:10に1~3年生を対象に実施。宿題やプリントでの学習支援。</p> <p>② 読み聞かせ 水曜朝読書の時間に実施。1~4年生対象。</p> <p>③ 授業支援 1~6年算数インターンシップ(群大教育学部数学科学生)、高校生ボランティアチューターの活用 ・3~6年:国語科書写指導支援 ・1年:動物ふれあい教室 ・1年:生活科昔遊び ・2年:総合パソコン指導支援 ・3年:国語科戦争体験を語る ・3年:算数科珠算指導支援 ・4年:社会科環境問題指導支援 ・5年:家庭科ミシン指導支援 ・6年:社会科見学オリエンテーリング支援 ・6年:鼓笛指導支援 ・6年:社会科租税教室 など</p> <p>④ その他 定時一斉下校付き添い、環境美化支援、運動会だんべえ踊り支援、「牛池川の豊かな思い出を育む会」と連携した活動支援(牛池川遠足、元北川清掃、ホテル祭り)</p>	<p>○ 事業の推進によって明らかになったこと 多くの地域の方や保護者に学校に関わっていただいたおかげで、児童の情操面や、基礎学力の向上等において、たいへん効果的であった。また、地域の方に学校の様子を見ていただいたことにより、学校や教職員、児童への理解が深まった。 これらのことから学校と地域との関係がより密接になった。</p> <p>○ ボランティア活用による児童の変容 地域の高齢者と接する中で、自然と弱者をいたわる優しい気持ちが生まれている。また、作業学習等で複数の方々に学習をみていただくことにより、担任1人では手が足りない面を補うことになり、学習効果が上がった。その結果、児童の成就感も上がった。</p> <p>○ 保護者、地域の方の反応 放課後補充学習等で、ボランティアの方にみていただくことにより、基礎学力の向上につながり、感謝されている。 地域の高齢者の方には、児童と接することにより、元気、やる気、生きる力をもらい、ありがたいと感謝されている。</p>

【学校名：伊勢崎市立殖蓮第二小学校】

(1) 運営形態

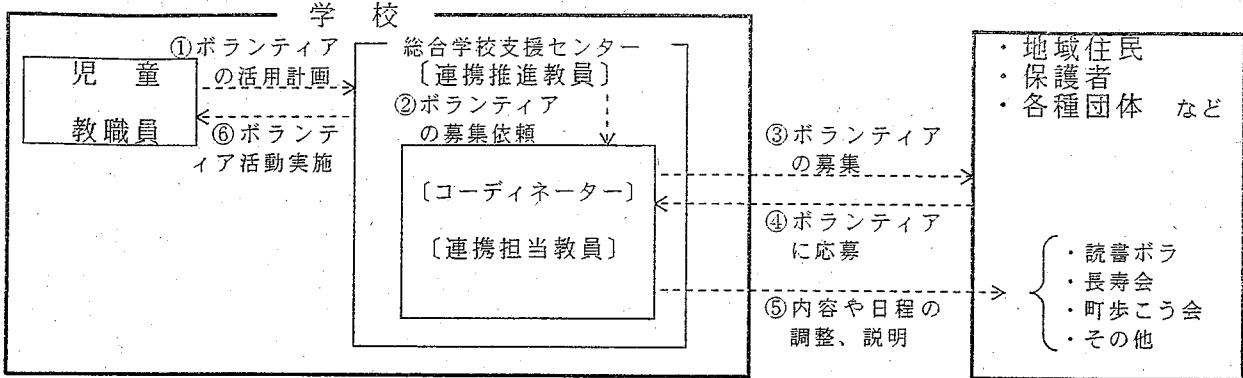


(2) 活動内容

[活用事例]	[効果]
1. 読み聞かせ 毎週金曜日朝読書の時間に、1～3年生を中心に、絵本や紙芝居を10分間実施。	○読み聞かせにより、「金曜読書」を楽しみに待つ児童が増え、読書に対する関心・意欲が高まった。
2. 図書室整備 図書整理・修理・カバーかけ・壁面の飾付け 図書登録作業時のパソコン入力補助	○図書室の環境が充実し、利用する児童の相談や要望にも答えられるようになった。
3. ベルマーク集め(3学期より)	○児童会活動とタイアップし、協力を呼びかけたところ、短期間のうちに集まりつつある。
4. 登下校時の安全指導 校区6町内の老人クラブによる下校見守り他	○始業式等で、これまでに3回、安全パトロール会員の紹介をし、安全な登下校について指導した。老人会への信頼と感謝の意識も高まった。
5. 野菜作り・米作り 生活科・総合学習での、地域の方による長期にわたる栽培技術指導	○5年生総合「米作り」では、もみ撒きか収に脱穀まで、実地指導が受けられた。おにぎりを作った、感謝の気持ちを表した。
6. クラブ活動 囲碁・将棋クラブ	○勝負の仕方やマナーについて、師匠から手ほどきを受け、熱の入った充実した時間をもつことができた。
7. 冬の室内遊び 2月～3月中旬、月～金曜日の業間休みでの、伝承遊びや室内遊びの指導・支援	○日替わりのゲストティーチャーによる遊びの指導を受け、児童はいそいそと遊集しにも役立った。
8. 地域子ども教室 年間24回、毎週月曜日放課後実施	○外遊びから工作・木工・手芸などの室内での制作活動まで、バラエティに富んだ内容が企画実施された。
9. 各種学校行事補助 健康診断・運動会・就学時健診・マラソン大会 ・入学説明会・卒業式準備等	○担当や担任の補助をしていただいた。
10. 授業支援(教材作り・体験活動ほか) (1)教材作り・材料準備 (2)プリント等添削・丸つけ (3)安全確保 ・陸上練習やプール等体育指導時の安全支援 ・遠足や地域めぐり等校外学習時の安全確保 (4)児童への個別対応 ・下校時の校門指導 (5)児童への個別対応 ・日本語教室への個別対応 ・配慮児童への個別対応・見守り支援 (6)各学年への学習支援 ・1年生給食開始時補助 ・生活科・図工・家庭科の支援 (その他)内容…「平成18年度学校支援ボランティア年間活用計画表」参照	○支援者が増えたことで、ゆとりができ、きめ細かな指導が可能になった。 ○生活科の公園遊びや社会科・総合の校外学習は、道歩行や見学地での安全確保ができた。安心して体験活動の指導ができた。 ○外国籍児童やつまずきのある児童が、個別の支援を受け、学習に意欲的に取り組めるようになった。 ○ミシオン操作や木工工作などの授業は、支援を必要とする児童が多いため、細かい指導が可能なため、授業の支えがきめ細かくなった。

【学校名：玉村町立玉村小学校】

(1) 運営形態

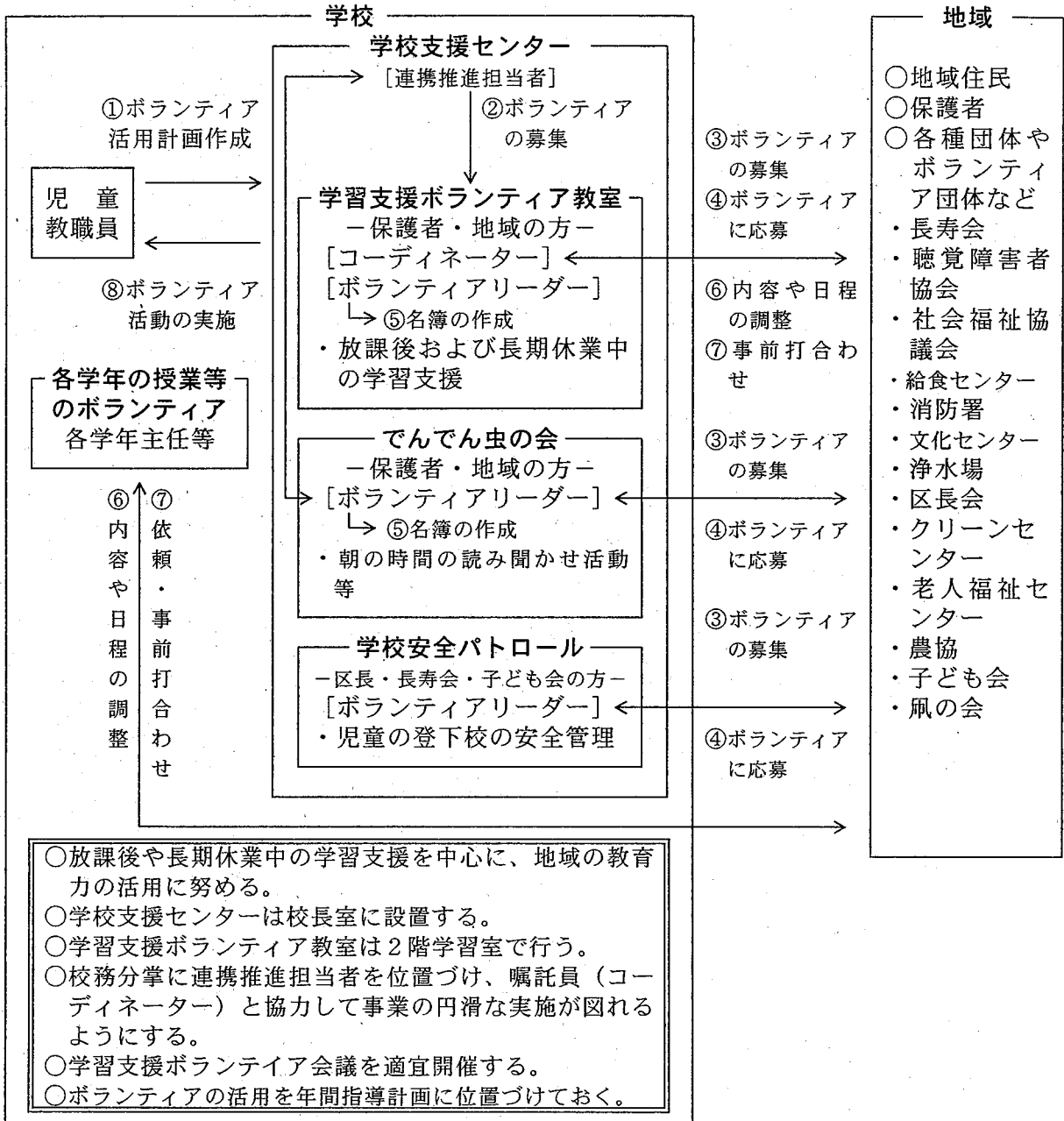


(2) 活動内容

〔活用事例〕	〔効果〕
<p>【豊かな心を育む活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○野菜を栽培し、美味しく食べました。(1, 2年・特学) ○地域のお年寄りと、冬のあそびを楽しみました。(1年) ○わたしの命の大切なことを知りました。(2年) <ul style="list-style-type: none"> ・助産婦さんの「生命を育む講座」 ○米作りに取り組みました。(3年) <ul style="list-style-type: none"> ・籾蒔き ・田植え ・案山子づくり ・稲刈り ・イネ縄づくり ・餅つき ・お米をテーマに発表会 ○校庭や八幡様の樹木について学びました。(4年) <ul style="list-style-type: none"> ・校庭の樹木調べ ・講師(保護者)から、樹木の育ちと環境との関係学ぶ ・樹木のネームプレート制作と取付 ○環境について学びました。(5年) <ul style="list-style-type: none"> ・児童個々に課題設定、調べ学習、発表会 ○障害を持つ人の気持ちに近づきました。(6年) <ul style="list-style-type: none"> ・点字やアイマスク体験 ・もみじ体験 ・視覚障害の方のお話 ・車いす生活の方のお話 ・聴覚障害の方のお話 ○玉村町と玉小の歴史を学びました。(6年) <ul style="list-style-type: none"> ・町歴史資料館で玉村の昔を学ぶ ・戦争中の玉村は? ・野焼き ・土器づくり ・校歌を刻み学校に残す ○朝読書に親しみ自主学習に取り組みました。(全校) <ul style="list-style-type: none"> ・地域のボランティアのお母さんやお姉さんによる朝読書 ・朝学習 ○花の絶えない学校づくりに取り組みました。(栽培委員会・全校) <ul style="list-style-type: none"> ・パンジー、キンセンカ、菜の花、サルビア、マリーゴールド、彼岸花等 ○冬瓜を栽培し給食の食材に活用してもらいました。 <ul style="list-style-type: none"> ・学校で、家庭で、地域で栽培 <p>【学力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ボランティアのお母さん方にミシンを教してもらいました。(5年) ○地域の方からお琴を学びました。(6年) ○書道連盟のお年寄りに書き初めを教わりました。(3456年) ○クラブで、将棋やオセロを教わりました。(4, 5, 6年) <p>【安全と健康でたくましい体づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○放課後の安全な生活支援に取り組みました。 <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアの方の手助いで、水、金曜日の放課後、少年野球児童の学習生活支援 ○学校前の商工会議所の方の協力を得て、防犯教室を行いました。 ○地域の長寿会の皆さんに、下校時の安全な通学に協力いただきました。 ○親子と教師が協力して校庭の遊具をペンキ塗りしました。 ○警備会社の方や警察官から交通ルールや安全な登下校について学びました。 	<ul style="list-style-type: none"> ○事業推進で明らかになったこと <ul style="list-style-type: none"> ・全学年、総合学習を始め様々な教科、道徳等で地域のボランティアや専門の知識・技能を持つ方を、学校にお呼びすることができた。 ・地域の教育力が、学校の教育活動の多くの場で有効活用できることを、改めて知った。 ・地域の教育力を活用することで、児童の活動が今まで以上に豊か内容のあるものになることに改めて気付いた。 ・地域の教育力の情報網を確保していく必要があること ・お年寄りにボランティアで学校に入っていただくことで、児童と共にお年寄りも喜んでくれること。 ・児童の安全確保に、地域と一体となって取り組む事の大切さが、改めてわかった。 ・コーディネーターが今年配置されたが、今後も必要であること。またそういった人を養成していく必要があること。 ・開かれた学校を推進していくことで、学校への理解も進むこと ○ボランティア活用による児童の変容 <ul style="list-style-type: none"> ・活動が意欲的になった。 ・一層きめ細かい指導ができ、理解が深まった。 ・専門家に指導を受けることで、広く深い知識を身に付けることができた。 ・児童は、隣のおばちゃんやお爺ちゃんなど身近な人と触れあうことで、学習も身近なものに感じられたようだ。 ○教職員や保護者の反応 <ul style="list-style-type: none"> ・学外の方が校内に入ることを、素直に受け入れられるようになった。 ・地域の教育力を活用することが、児童にも教師にも有効であることを、肌で理解できた。

【学校名：玉村町立上陽小学校】

(1) 運営形態



(2) 活動内容

〔活用事例〕	〔効果〕
<p>1. 学習支援ボランティア教室の開設 保護者や地域の方々、群馬大学生より学習支援ボランティアを募り学習室を使って、長期休業中や放課後に児童の宿題や自主学習の支援を行った。 <長期休業中の活動> 学校図書室の開館日に合わせて、学習室で以下のことを行った。 ①算数や漢字のドリルを使った自主学習への支援。 ②夏休みの宿題に対する支援。 ③本の読み聞かせや児童の本読みの練習。 ④漢字書き取りの練習。 ⑤掛け算九九の練習。</p>	<p>○事業の推進によって明らかになったこと 保護者や地域の方々が学習支援ボランティアとして、指導・支援してくれることにより、学習における個別指導の充実が図られ、児童の学習に対する成就感や充実感が高まった。 各種のボランティアの力を借りることにより、教師の力の足りない分を補完できた。特に生命や人権、福祉関係の専門性は大きいに役</p>

- ⑥算数の練習問題や漢字の答え合わせ。
- ⑦上毛カルタの練習。
- ⑧昔の遊び作り。(水鉄砲、独楽、竹とんぼ等)

<放課後を使つての活動>

算数や国語のドリルを使つての学習支援や特別講座を毎週木曜日、放課後に学習室やパソコン室、家庭科室等で以下のことを行った。

- ①算数や漢字のドリルを使つた自主学习への支援。
- ②本の読み聞かせ。
- ③算数の練習問題や漢字書き取りへの支援。
- ④パソコン教室(運動会の招待状やカレンダー、クリスマスカード、年賀状の作成等)
- ⑤国際理解(ベトナムの小学生のお話)
- ⑥ソフトバレーボール教室やエアロビクス教室
- ⑦調理教室(ホットケーキ作り)
- ⑧裁縫教室(雑巾作り)
- ⑨クリスマスリース作り
- ⑩昔の遊び道具作り(どんぐりゴマ、和風作り等)
- ⑪上毛カルタ大会
- ⑫野球教室

2. 読み聞かせ

毎週、火曜日と金曜日の朝学習の時間に「でんでん虫の会」が全学級で実施。

3. 学校安全パトロールの実施

区長さんや長寿会、子ども会等の方々が協力して児童の登下校の安全管理のために自主的に安全パトロールを行った。

4. 授業活動への支援(各学年における主な授業支援)

1年	運動会用具作成での支援 生活科(ふれあい動物教室)での支援
2年	運動会用具作成での支援 生活科(校外学習、ふれあい動物教室)での支援
3年	社会科(町探検)での協力 体育(駅伝)での支援
4年	社会科見学での支援 社会科(町の歴史学習)での協力 総合的な学習の時間(環境について)での支援
5年	家庭科(ミシンの学習)での支援 総合的な学習の時間(田植え、稲刈り、餅つき)での支援
6年	家庭科(ミシンの学習)での支援 家庭科(食育)での支援

5. その他

- ・交通安全教室、避難訓練での協力。
- ・夏休みの校庭の草むしり、通学路の清掃などへの協力。
- ・うさぎの休日飼育での協力。
- ・通学路の交通安全看板の作成での協力。
- ・学校開放時での受付や校内巡視での協力。

立った。

地域の方(区長さん、子ども会、保護者)にお願いし、安全パトロール等をしてもらい、子ども達の登下校の安全確保に役立った。

○ボランティア活用等による児童の変容

子ども達が教師以外のボランティアと交流を重ねることで優しさや思いやりに触れ、豊かな人間性を育むことができた。

学習支援ボランティア教室の昔の道具作り等の特別講座では和風作りのように和紙に思い思いに自由に、自分の大好きなキャラクターを描いたり、和紙に竹ひごを通して、風の形に合わせて竹ひごをのりやボンドで和紙につけ竹ひごを結んだが、なかなかうまくいかなかったり、実際に自分で作った凧を飛ばしてみたりした。このように学習支援ボランティアや地域の人材のお力をいただき、幅広い体験活動を児童に提供することで、教科書やインターネットの机上やバーチャルな学習が体験を通して確かな学力として子ども達に身についていった。

○教職員の反応

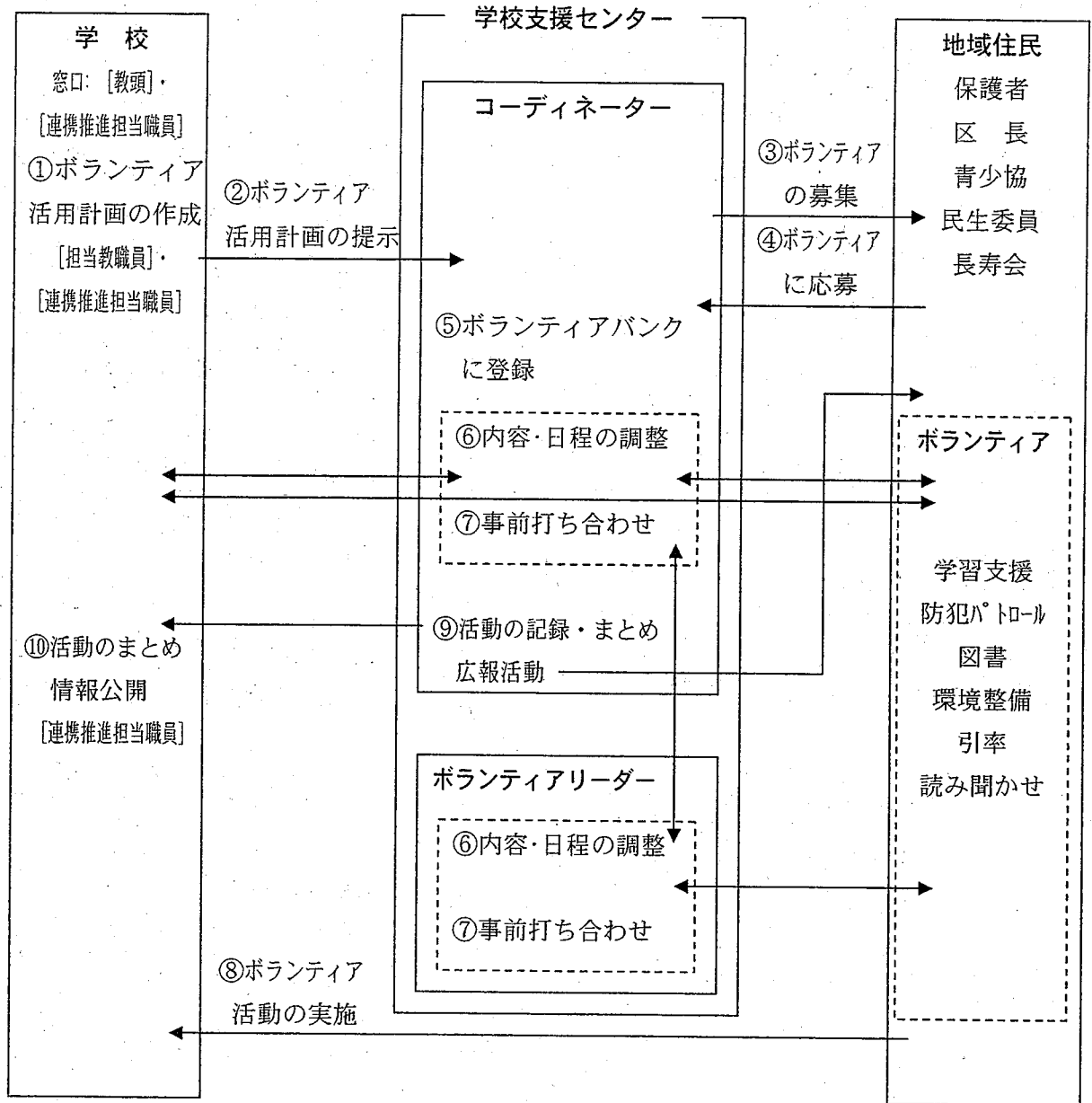
「ミシンを使う学習では保護者に協力してもらうことでよりきめ細かい指導が可能になった。」「学習支援ボランティア教室で宿題をみてくれると助かります。」という感想を聞くことができたが、学校支援センターの事業に消極的な教職員もいたので、地域の教育力の有効活用に関する教職員の意識改革の必要性がある。

○保護者の反応

「ボランティア活動に参加することで、子ども達や学校の様子がよく分かるようになった。」「共働きで家に帰るのが遅くなってしまふので、毎週木曜日に学習支援ボランティア教室があると助かります。」というような感想を聞くことができ、学校と地域や家庭が一体となって子どもを育てていくという雰囲気があり、学校に対して協力的である。

【学校名：吉井町立吉井西小学校】

(1) 運営形態



(2) 活動内容

〔活用事例〕	〔効果〕
<p>1 学習支援 登録人数 67人 随時活動</p> <p>(1) 国語 5年「インタビュー名人になろう」 3～6年書写(毛筆)</p> <p>(2) 社会 6年「戦争体験談を聞こう」</p> <p>(3) 算数 TT、○つけ補助</p> <p>(4) 家庭 6年調理実習、5年ミシン実習、被服実習</p> <p>(5) 体育 プールの安全監視 低学年運動会用具作成補助 1～4年水泳指導</p>	<p>○事業の推進によって明らかになったこと</p> <p>学習支援では、ボランティアの特技や専門性を生かすとともに、複数の指導者により児童に目を行き届かせることができ、きめ細かな指導を行う上で効果的であった。</p> <p>防犯パトロール、引率ボランティアが充実したことにより、安全面が大きく向上した。</p>

3・4年マラソン監視員

(6)生活・総合 各学年農業ボランティア

種芋・種苗の購入、畑たがやし、収穫までの畑作補助、田んぼの手入れ、田植え指導、稲刈り指導、脱穀指導

(7)その他

サマーチャレンジ指導補助、クラブ活動(囲碁・将棋)

1 防犯パトロール 登録人数192人

通年/随時活動

児童の登下校時の防犯パトロール、踏切の安全通行、通学路の安全確保

3 図書 15人 通年/毎日活動(当番制)

バーコードによるカウンター業務(本の貸し出し、返却)、書架および代本板の整理、古くなった本や代本板の修理、新しく入った本の登録

4 環境整備 23人 通年/第2・4火曜日

学校敷地内の除草・樹木の剪定、害虫駆除、花壇の手入れ、子どもたちとのプール清掃、施設修理

5 引率 42人 随時活動

遠足の引率、生活科・社会科・図工科・総合的な学習の時間における校外学習の引率

6 読み聞かせ 22人 通年/第1火曜日

各クラス1～2名による読み聞かせ

7 臨時 必要に応じて随時募集

運動会の準備・後片付け

創立30周年記念式典の準備・後片付け

校内マラソン大会監視員・マラソン併走(8名)

環境整備や行事の準備等にボランティアの協力を得ることにより、教師・児童が本来の教育活動にさらに効果的に取り組めるようになった。

○ボランティア活用による児童の変容

専門的な指導を受けたり、きめ細かな指導を受けたりすることにより、興味関心が高まり、学習内容を深めることができた。児童の感想「いろいろ教えてもらってうまく書けるようになりました。」

ボランティア参加者が増えた結果、日常的にボランティアの活動を目にするようになり、児童に感謝の気持ちが育ってきている。

○教職員や保護者の反応

授業へのボランティアの導入の効果教師自身が自覚するようになった。

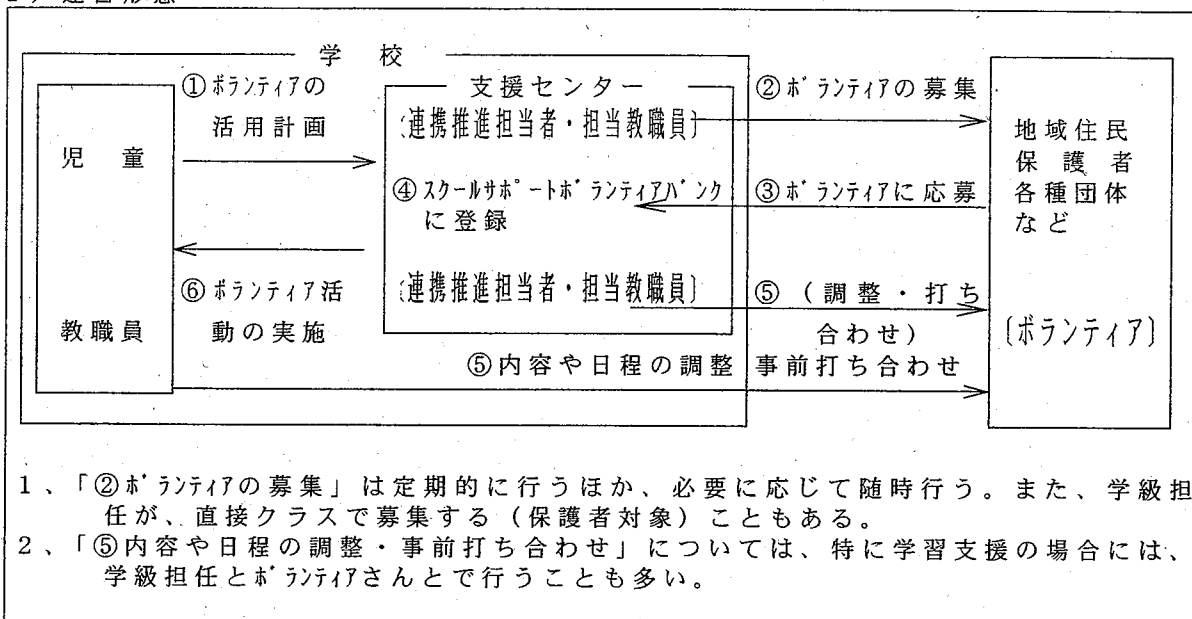
ボランティアと授業を行うことにより、授業改善が進められた。

ボランティアに参加している保護者の学校理解が深まった。保護者の感想「先生一人ではやはり大変かなと思いました。」「子どもたちが泳げるように熱心に指導されている先生方に感動しました。」

ボランティアとして学校に協力する意識が高まった。保護者の感想「普段授業参観では見られない子どもたちの姿を見ることができ、またこのようなボランティアなら参加させていただきたいと思います。」

【学校名：甘楽町立新屋小学校】

(1) 運営形態



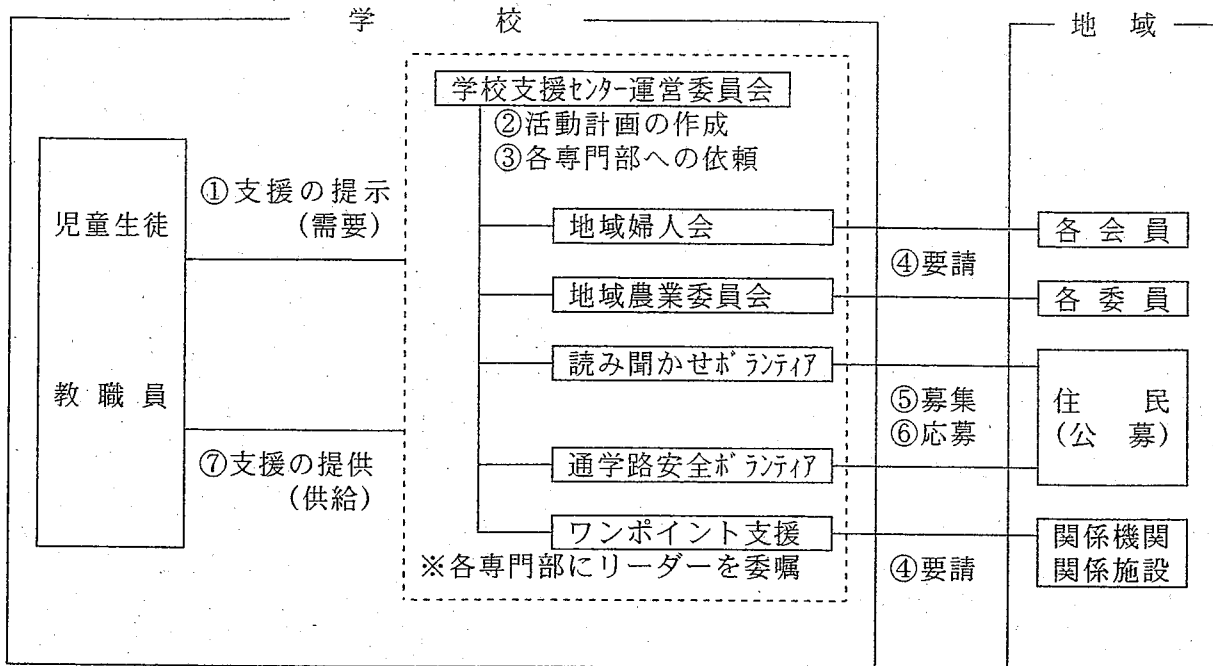
- 1、「②ボランティアの募集」は定期的に行うほか、必要に応じて随時行う。また、学級担任が、直接クラスで募集する(保護者対象)こともある。
- 2、「⑤内容や日程の調整・事前打ち合わせ」については、特に学習支援の場合には、学級担任とボランティアさんで行うことも多い。

(2) 活動内容

〔活用事例〕	〔効果〕
<ol style="list-style-type: none"> 1 読み聞かせボランティア 毎週水曜日と金曜日の朝実施。 2 交通安全ボランティア 毎朝、国道を渡る信号で交通指導 毎月曜日朝、危険箇所交通指導 3 子ども見守り隊 児童の下校時、散歩や畑仕事の途中などで声かけや見守りをさせていただく。 (登録者には車用シートと名札を配布) 4 環境整備 学校の畑や周辺の草刈、畑の耕うん 5 ふれあい朝礼 「楽しい新屋小」「新屋の歴史」 6 学習支援 <ol style="list-style-type: none"> (1) 米づくり指導 5年生総合、種まきから収穫・餅つきまで (2) 野菜づくり指導 3年生～4年生のたまねぎ植えと収穫 (3) 校外学習の安全指導補助 2年生生活「お店探検」3年生社会「町探検」 4年生社会「浄水場の見学」 (4) 家庭科・総合実習補助 3年生総合「小麦の学習」おきりこみづくり 4年生総合ポップコーンづくり 5年生総合きびご飯づくり、餅つき 5年生、6年生ミシン学習補助 (5) ゲストティーチャー 5、6年生書初め練習 6年生社会「戦争を考える会」「国際理解」 3年生総合「新屋のカルタ作り」庭谷の歴史 1年生生活「昔の遊び大会」 など (6) 見学学習協力 商店、製麺 など 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事業の推進によって明らかになったこと 交通安全ボランティアや子ども見守り隊の活動は、児童の安全確保に大きな効果をあげ、また、不審者に対する抑止力になっている。 それらの活動を通して、「地域の学校」「地域の子ども」という地域側の意識も高まった。更に校外活動だけでなく学習支援などにも気軽に出かけてくださるなど、学校と地域の連携が深まった。 学校支援センターとして地域に呼びかけることにより、地域には様々な知識や技能、経験を持った方がたくさんいらっしゃる事がわかり、また、多くの協力も得られた。 ○ ボランティア活用による児童の変容 それぞれの専門知識や技能を持った方をゲストティーチャーとしてむかえ、学習に意欲的に取り組み、質の高い学習活動を得られた。また、「学校の先生」以外のいろいろな「名人」「先生」に教えていただく経験は児童の視野を広げ深めることができる。 ○ 保護者の反応 本校の人材バンクには保護者もたくさん登録して活動をしているが、活動を通して、自分の子どものことだけでなく、「地域の中の子ども」という見方、考え方がみられるようになってきた。 お便り等を通し地域からの支援の様子を知り、地域との連携意識も出てきた。

【学校名：中之条町立名久田小学校】

(1) 運営形態



(2) 活動内容

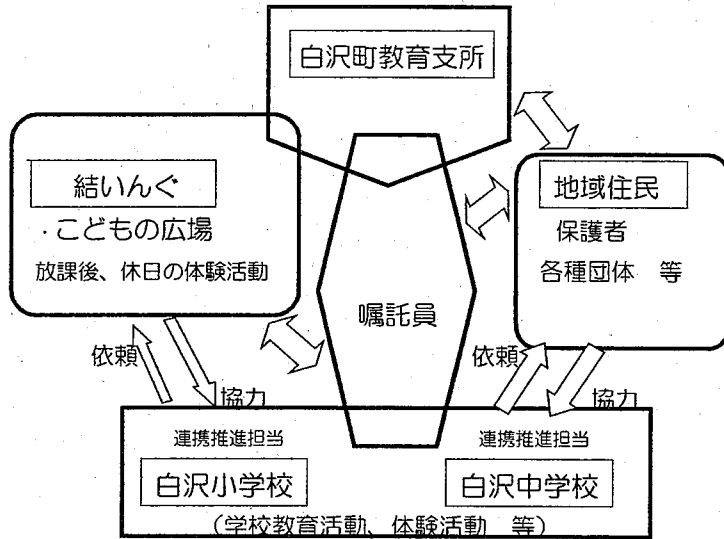
〔活用事例〕	〔効果〕
<p>1. 学校支援センター運営委員会</p> <p>(1) 活動方針、活動内容の検討</p> <p>(2) 年間活動計画の立案</p> <p>(3) 各専門部のリーダーの委嘱</p> <p>(4) 各専門部の情報交換</p> <p>2. 地域婦人会</p> <p>(1) 高齢者による花植え (1, 2年生活科)</p> <p>(2) 高齢者との給食交流</p> <p>(3) こんにゃくづくり指導 (5年総合)</p> <p>3. 地域農業委員会</p> <p>(1) じゃがいも栽培指導 (1, 2年生活)</p> <p>(2) こんにゃくいも植え付け指導 (5年総合)</p> <p>(3) さつまいも収穫体験 (1, 2年生活)</p> <p>4. 読み聞かせボランティア</p> <p>(1) 毎週金曜日朝の「読み聞かせ」(低・中・高)</p> <p>(2) 毎週金曜日放課後の「読み聞かせ」(1年)</p> <p>(3) 図書室の本の修理</p> <p>5. 通学路安全ボランティア</p> <p>(1) 下校時刻に合わせたパトロール</p> <p>(2) 情報交換会 (学期1回)</p> <p>6. ワンポイント支援</p> <p>(1) 清掃センター見学 (4年社会)</p> <p>(2) 動物ふれあい教室 (1, 2年生活)</p> <p>(3) 牧場見学 (2年生活)</p> <p>(4) スーパーマーケット見学 (3年社会)</p> <p>(5) 図書館の見学 (2年生活)</p> <p>(6) スキー教室での実技指導 (5, 6年)</p> <p>7. その他</p> <p>(1) 学校支援センターたよりの発行 (学期1回)</p> <p>(2) 学校ホームページへの掲載</p>	<p>○運営委員会の設置により、支援センターの全体構想が明確になった。</p> <p>○各専門部の自立性が高まった。</p> <p>○世代間交流により「思いやりの心」が育った。</p> <p>○農業体験を通して、収穫の喜びを共有することで、児童間の人間関係が豊かになった。</p> <p>○読書への関心が高まるとともに、支援者の話(昔話など)を興味深く聞いていた。</p> <p>○図書室の本が整理された。</p> <p>○児童の下校時の安全が確保された。(特に低学年)</p> <p>○体験的な学習により、児童の関心意欲が高まった。</p> <p>○専門家による効果的な学習により、充実した学習ができた。</p> <p>○地域住民の学校の教育活動に対する関心が高まった。</p>

【学校名：沼田市立白沢小学校】

(1) 運営形態

- ・ 白沢町教育支所内に設置されている「結いんぐ」に学校支援センターとしての機能をもたせ、PTA・地域等と連携を図りながら推進に努めてきた。
- ・ 運営（ボランティアの依頼）に当たっては下記のような3通りの手順で実践してきた。
 - ① 学校から直接依頼
 - ② 「結いんぐ」を介して依頼
 - ③ 嘱託員が仲介して依頼

白沢町学校支援センター（運営形態）

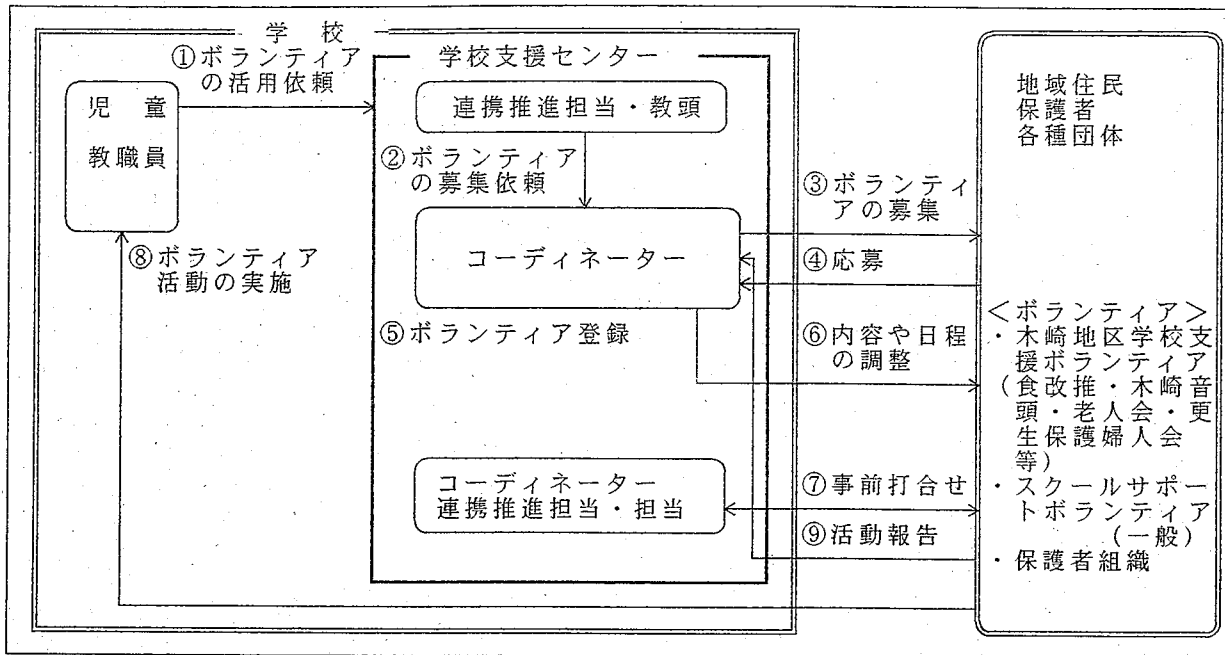


(2) 活動内容

[活 動 事 例]	[効 果]
<ol style="list-style-type: none"> 1. 読み聞かせ 毎月1回 全学年 朝行事「読書タイム」の時間に本の読み聞かせ 2. 環境整備 図書整理 夏休みに図書室の整備 3. 安全支援 登下校時 通年 4. 集会活動 朝行事（昔の遊び集会） 児童会活動 5. 学習支援 <ol style="list-style-type: none"> ① 5年：総合的な学習 米作り全般についての支援 田植え（6月） 稲刈り（10月） もちつき（11月） わらぼうし作り（12月） ② 5年：家庭科 玉結び・玉留め等（6月） ミシン操作（11月） ③ クラブ 「青りんごクラブ」の児童へ読み聞かせの仕方についての指導（6月） 「お茶のみクラブ」の児童へ茶道の体験支援 抹茶を味わう（6月・12月） ④ 3年：社会科「学校のまわり探検」 児童に同行し、安全支援（6月） ⑤ 3年：総合的な学習 「町の花サルビア植え」 サルビアの育て方の指導（6月） ⑥ 5年：社会科 「これからの食料生産と私たち」 農業の実情についてお話と討論会（7月） ⑦ 全校 運動会種目の全校民謡踊り 「白沢よいとこ」事前指導と当日の参加（8月） ⑧ 2年：生活科「町たんけん」 児童に同行し、安全支援（10月） ⑨ 4年：総合的な学習 こんにゃく作り 自分たちで育てた地域の農産物こんにゃくいもを使ったこんにゃく作りと試食（12月） ⑩ 1年：生活科 むかしのあそび 遊び方の指導の後遊び体験の支援（12月） ⑪ 5・6年：体育 スキー教室 スキー場での技術指導・安全支援（1月） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事業の推進によって明らかになったこと 白沢町教育支所内に従来からある白沢町子ども支援センター「結いんぐ」に学校支援センターとしての機能をもたせたことで、学校の教育活動に地域の教育力をスムーズに活用する体制が確立された。多くのボランティアの方に協力していただき、児童は貴重な体験をすることができた。また、「学校のまわり探検」や「町探検」では、安全確保を図ることができた。さらに広報活動として学校支援センターだより「結いんぐ」を定期的に発行し、ボランティア活動に対する理解や関心を高めることができた。 ○ ボランティアの活用による児童の変容 専門的な知識や技能をもった指導者に支援していただくことで、児童はより真剣に意欲的に取り組んでいた。また、ボランティアの方々と楽しそうに触れ合う姿が見られた。 ○ 教職員やボランティアの方々の反応（教職員） <ul style="list-style-type: none"> ・ 昔話を聞いたり、伝統的な行事の習わしや昔の遊びを教えてもらったりして、子ども達の体験活動の幅が広がった。 ・ こんにゃく作りは担任も未経験だったので、指導していただき本当によかった。自分たちで育てたいもで作ったこんにゃくのおいしさは、子ども達の心にずっと残っていると思う。 （ボランティアの方々） <ul style="list-style-type: none"> ・ 子ども達は真剣に取り組んでいた。楽しい時間を過ごすことができた。来年も是非参加したい。

【学校名：太田市立木崎小学校】

(1) 運営形態

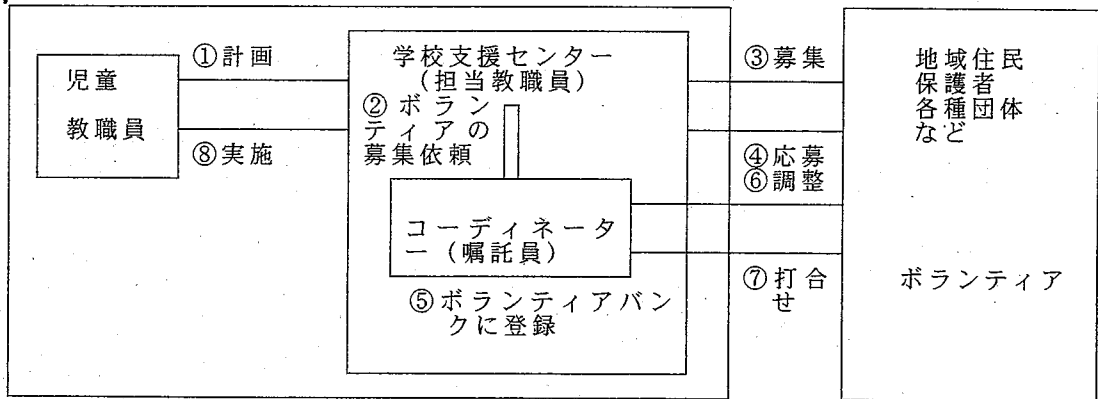


(2) 活動内容

〔活動事例〕	〔効果〕
<p>1 安全支援 ○ 登下校時の安全パトロール（通年） ・木崎地区学校支援ボランティアを中心とした通学路の安全パトロールの実施（名札、ジャンパー、腕章、帽子等を着用） ○ 交通安全教室ボランティア（5月） ・校外での安全な通行の指導における危険箇所での旗振りや児童への指導 ○ マラソン大会ボランティア（11月） ・走路での安全指導 ・通学車両への安全指示 ○ 校外学習ボランティア（随時） ・1、2、3、4年生の校外学習時の安全指導 ○ 校内の防犯パトロール（3月） （含：児童とのふれあい）</p> <p>2 環境整備支援 ○ 図書室の整理、図書の修繕（通年） ○ 校庭の樹木の伐採と剪定（8月、9月）</p> <p>3 授業支援 ○ スーパーマーケット見学支援（10月） （3年総合） ○ 畑ボランティア（6月～10月） ・作物の植え付け指導や作物への水やり、草取りの手伝い（2年生活） ○ 昔の遊びボランティア（1月） ・竹とんぼ、コマ回し、お手玉、けん玉、まりつぎ等遊びの指導（1年生活） ○ 木崎音頭ボランティア（9月） ・4年生への踊りの指導（体育） ・運動会当日の指導と協力 ○ 低学年への読み聞かせ（3月）</p> <p>4 課外授業支援 ○ 土曜スクールボランティア（10月～1月） ・編み物教室、茶道教室、絵手紙教室、工作教室、伝統行事物作り教室等の講師</p> <p>5 ボランティア会議及びボランティア研修会 （6月、7月、10月、3月）</p> <p>6 児童集会への参加（ありがとう集会）</p>	<p>○ 事業の推進により、明らかなら、かになり、なつた、とけ、 ・ボラは不安、の推進にと、の連携、によ、ら、か、に、な、つ、た、と、 ・児童と地域で、ボランティアの「地域で、わ、り、に、よ、 ・は、地、域、で、育、つ、た、こ、こ、ろ、に、ど、う、 ・に、地、域、住、民、が、参、加、し、た、こ、の、情、報、を、意、識、し、て、協、力、 ・地、域、の、情、報、を、提、供、し、た、こ、の、情、報、を、意、識、し、た、協、力、 ・地、域、の、情、報、を、提、供、し、た、こ、の、情、報、を、意、識、し、た、協、力、 ・地、域、の、情、報、を、提、供、し、た、こ、の、情、報、を、意、識、し、た、協、力、 ・地、域、の、情、報、を、提、供、し、た、こ、の、情、報、を、意、識、し、た、協、力、</p> <p>○ ボランティアの活用により、児童の容姿、 ・専門的な知識や技術を、児童の容姿、 ・様々な機会に、ボランティアとふれあ、 ・土に愛着を持って、ボランティアの親、 ・土に愛着を持って、ボランティアの親、</p> <p>○ 教職員や保護者の反響、 ・ほとんどの教職員や保護者が、 ・ほとんどの教職員や保護者が、</p>

【学校名：館林市立第十小学校】

(1) 運営形態



(2) 活動内容

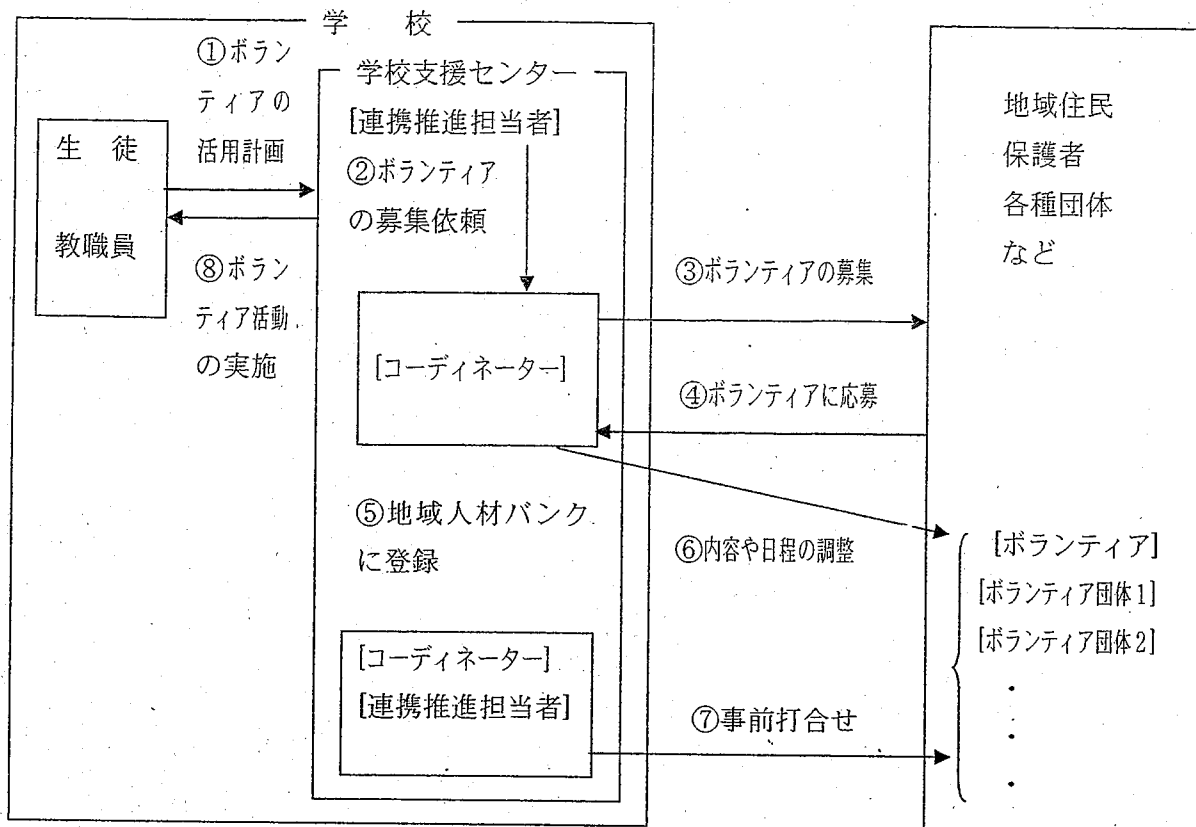
〔活用事例〕	〔効果〕
<p>1 読み聞かせボランティア (1) 毎週水曜日朝行事で、全学年を対象に読み聞かせを実施。 (2) 毎週水曜日の放課後、図書室で希望者対象に読み聞かせを実施。 (3) 年3回、朝会の時間に体育館で、読み聞かせ全校集会を実施。</p> <p>2 学習支援ボランティア (1) 1年生 ① 高齢者の交流(年3回)「生活科」 西公民館の高齢者サークルの方に昔の遊びを教えてもらったり、一緒に遊んだりしてふれあう。</p> <p>(2) 2年生 ① 野菜作り「生活科」 野菜作り「生活科」を招聘し、ミニトマト、サツマイモ作りの指導をしていただく。</p> <p>(3) 3年生 ① 書道ボランティア(通年)「国語科」 書道ボランティアと児童の世話をしてくれる。 ② ゲストボランティア「総合的な学習の時間」 ゲストボランティアを招聘し、昆虫の話を聞いていただく。 ③ 科学館の習字の講師を招聘し、協力の店舗で実施した。 ④ 校外地区の習字の講師を招聘し、安全のためにボランティアを実施した。</p> <p>(4) 4年生 ① ゲストボランティア「国語科」 ゲストボランティア「国語科」の話を聞いていただく。 ② 元校外学習の移動「社会科」 元校外学習の移動「社会科」の話を聞いていただく。 ③ ゲストボランティア「総合的な学習の時間」 ゲストボランティア「総合的な学習の時間」の話を聞いていただく。 ④ 図工ボランティア「図工科」 図工ボランティアを招聘し、手話を指導していただく。 ⑤ 図工ボランティア「図工科」 図工ボランティアを招聘し、手話を指導していただく。 ⑥ エア工作ボランティア「理科」 エア工作ボランティアを招聘し、液体窒素を使った実験を行った。</p> <p>(5) 5年生 ① ゲストボランティア「図画工作科」 ゲストボランティア「図画工作科」を招聘し、水粘土工作の指導をしていた。 ② 家庭科ボランティア「家庭科」 家庭科ボランティアを招聘し、補助的な学習の時間について話を聞いていただく。 ③ 家庭科ボランティア「家庭科」 家庭科ボランティアを招聘し、補助的な学習の時間について話を聞いていただく。</p> <p>(6) 6年生 ① ゲストボランティア「総合的な学習の時間」 ゲストボランティア「総合的な学習の時間」を招聘し、数名の外国人を招待し、話を聞いた。 ② ゲストボランティア「図画工作科」 ゲストボランティア「図画工作科」を招聘し、絵画の指導をしていただく。</p> <p>3 夏休み中に児童が参加した。</p>	<p>○ 事業の推進により、地域の活性化を図る。ボランティアの活動を通して、地域住民との交流を図る。ボランティアの活動を通して、児童の学習意欲を高める。ボランティアの活動を通して、児童の生活態度を向上させる。ボランティアの活動を通して、児童の社会性を高める。ボランティアの活動を通して、児童の自己肯定感を高める。ボランティアの活動を通して、児童のコミュニケーション能力を高める。ボランティアの活動を通して、児童の創造力を高める。ボランティアの活動を通して、児童の想像力を高める。ボランティアの活動を通して、児童の感性を高める。ボランティアの活動を通して、児童の情操を高める。ボランティアの活動を通して、児童の健康を高める。ボランティアの活動を通して、児童の体力を高める。ボランティアの活動を通して、児童の精神を高める。ボランティアの活動を通して、児童の心を高める。ボランティアの活動を通して、児童の魂を高める。ボランティアの活動を通して、児童の性を高める。ボランティアの活動を通して、児童の徳を高める。ボランティアの活動を通して、児童の行を高める。ボランティアの活動を通して、児童の言を高める。ボランティアの活動を通して、児童の容を高める。ボランティアの活動を通して、児童の貌を高める。ボランティアの活動を通して、児童の姿を高める。ボランティアの活動を通して、児童の体を高める。ボランティアの活動を通して、児童の骨を高める。ボランティアの活動を通して、児童の肉を高める。ボランティアの活動を通して、児童の血を高める。ボランティアの活動を通して、児童の脈を高める。ボランティアの活動を通して、児童の気を高める。ボランティアの活動を通して、児童の神を高める。ボランティアの活動を通して、児童の魄を高める。ボランティアの活動を通して、児童の魂を高める。ボランティアの活動を通して、児童の性を高める。ボランティアの活動を通して、児童の徳を高める。ボランティアの活動を通して、児童の行を高める。ボランティアの活動を通して、児童の言を高める。ボランティアの活動を通して、児童の容を高める。ボランティアの活動を通して、児童の貌を高める。ボランティアの活動を通して、児童の姿を高める。ボランティアの活動を通して、児童の体を高める。ボランティアの活動を通して、児童の骨を高める。ボランティアの活動を通して、児童の肉を高める。ボランティアの活動を通して、児童の血を高める。ボランティアの活動を通して、児童の脈を高める。ボランティアの活動を通して、児童の気を高める。ボランティアの活動を通して、児童の神を高める。ボランティアの活動を通して、児童の魄を高める。ボランティアの活動を通して、児童の魂を高める。</p>

【学校名：玉村町立玉村中学校】

(1) 運営形態

*コーディネーター設置型で運営を行った。

①～⑧の順に従って、スクールサポートボランティアの活用を行った。

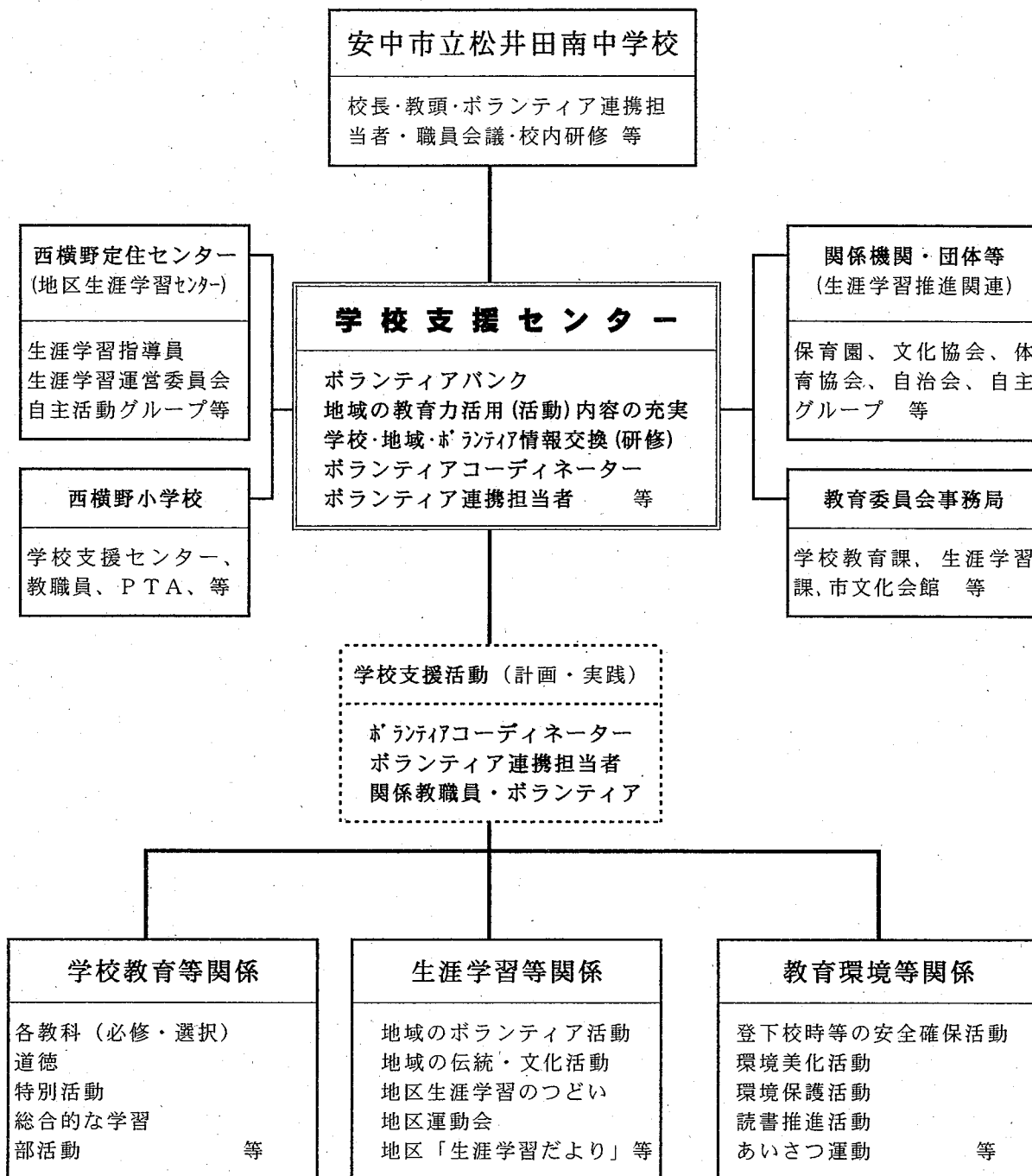


(2) 活動内容

〔活用事例〕	〔効果〕
<p>1 総合的な学習の時間を一層有意義な活動にするための地域社会による支援体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1 学年 ・ 「生き方講話」講師の依頼 ・ 2 学年 ・ 「職業体験学習」受け入れ先や事業所の選定・発掘 ・ 3 学年 ・ 「社会貢献活動」講師の依頼、体験活動受け入れ先の選定 <p>2 放課後学習支援体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 放課後の学習支援を学生ボランティアへ依頼する体制づくり <p>3 年間活動計画の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教職員へのアンケートをもとに、来年度の活動計画をたてる <p>4 地域人材バンクや施設の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校生活・学習内容への導入についての検討 	<p>○ 事業の推進によって明らかになったこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各学年ごとだった総合学習における地域社会の支援体制が確立できた。 ・ 「教師からの要望・依頼→連携担当者→コーディネーター→ボランティアの依頼→内容や日程の調整→事前打ち合わせ→活動」のように、ボランティアの活動について一連の流れを確立することができた。 ・ 放課後の学習支援を学生ボランティアへ依頼する体制づくりができた。 ・ 学校支援センター設立を機に、今まで行ってきた地域社会による連携体制を見直し、学校支援センターを活用したほうが良い事業と、今まで通り、教職員から直接働きかけたほうが良いものやPTA役員に依頼したほうが良いものを確認し、来年度の活動計画を立てることができた。 ・ 地域人材バンクの見直しを図るとともに、新しい人材発掘をすることができた。

【学校名：安中市立松井田南中学校】

(1) 運営形態



(2) 活動内容

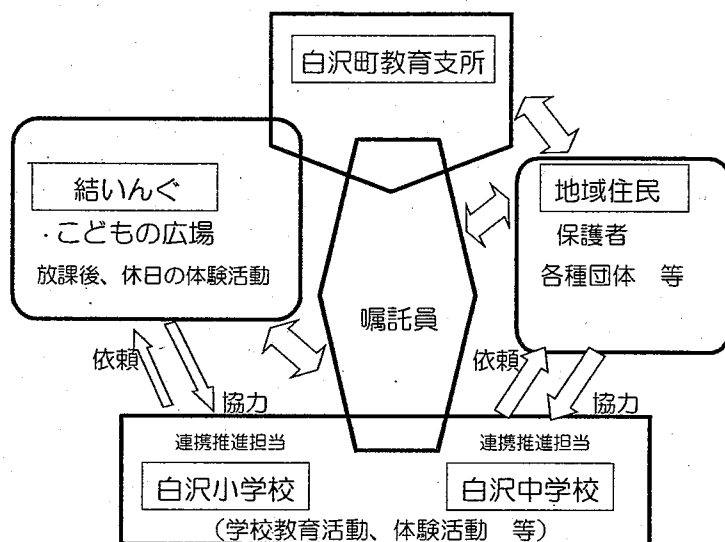
No.	活動名(領域)	活動内容	活動時期等	効果
1	自立活動 (野菜づくり等)	自立活動の一環として実施している 野菜づくり等の指導・援助。	1～2学期 (授業)	<ul style="list-style-type: none"> 教育力(技術や知識等)をもっている人がいることに、生徒が気付くきっかけになった。地域の人々を尊敬する気持ちや信頼関係が高まった。 ボランティアの活用が開かれた学校づくりと大きな柱の一つとなった。(ボランティア活動(地域の教
2	総合的な学習Ⅰ (職場体験学習)	職場体験学習の受け入れと体験学習 中の指導や援助等。(関係職場等)	夏季休業中 (3日間前後)	
3	総合的な学習Ⅱ (発表会:招待)	職場体験学習発表会にボランティア(関係 職場)団体の招待	9月21・26日	
4	体育祭Ⅰ (子供太鼓出演)	地域と一体となった教育活動推進の 一環(地域のスポーツ・文化活動)	9月30日 (体育祭)	
5	体育祭Ⅱ (体育祭:招待)	ボランティア個人登録者の招待 (体育祭)	9月31日	

6	総合的な学習Ⅲ (健康・福祉)	健康と福祉についての専門的な支援 (健康・福祉に関する講話)	10月12日	<p>育力の効果的な活用)を通して、閉鎖的であるといわれている学校の教育活動を地域に公開する良い機会となった。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ボランティアが学校の教育活動に関わることで、地域の人々の学校への理解や関心等が高まった。 コーディネーター、連携担当者・ボランティア等の連携協力により、地域の方の教育力を活用する機会が増えた。 特別講師(ボランティア)の活用により、生徒の集中力が高まったり、単元の中でのアクセントになるなど、いろいろな意味でよい刺激がえられ、教育効果があがった。 教育内容を専門的な立場から、指導や支援してもらうことにより生徒の技術や能力を更に向上させることができた。 	
7	家庭科 (調理実習)	調理実習の支援 (グループでの実技指導等)	11月20・27日		
8	安全教育 (避難訓練)	災害時における避難行動等に関する 実技・講話等の支援(火災)	11月29日		
9	性教育 (性感染症)	性感染症についての専門的な支援	12月14日		
10	安全教育 (防犯)	安全な毎日を過ごすために必要な基 礎・基本の支援(安全講話)	12月20日		
11	国語Ⅰ (書写)	毛筆の支援 (講話)	12月22日 (終業式)		
12	国語Ⅱ (書写)	毛筆の支援 (実技指導)	1月9日(書 き初め大会)		
13	音楽 (雅楽)	雅楽の支援 (講話や実演等)	2月16日		
14	体育 (球技)	球技の支援 (実技指導等)	2月19・22日		
15	自主活動(Ⅱ)	基礎的な講話や対局による専門的な 実技指導等。(将棋)	9月 (休日)		
16	部活動(Ⅰ)	コーチとして専門的な技術指導等。 (バスケット部)	通年 (平日、休日)		
17	自主活動(Ⅰ)	専門的な視点からの講和・実技指導 等。(陸上:長距離走)	夏季休業中		
18	環境美化活動Ⅰ (校庭の美化等)	学校の環境美化活動の一環として、 保護者、生徒、教職員に呼びかけて 実施。	5月・9月 (日曜日)		
19	読書推進活動	図書館の管理・運営、新刊書の紹介 等読書推進活動への支援。	通年 (火曜日)		
20	環境保護活動 (廃品回収)	学校や地域の環境保護活動の一環と して、保護者、生徒、教職員に呼び かけて実施。	8月 (日曜日)		
21	安全・安心活動 (校外指導)	下校時を中心に校区内(7ヶ所)で パトロール等を実施。	通年 (6回)		
22	環境美化活動Ⅱ (庭園、花壇等)	庭木や垣根の剪定や花壇の手入れ等 を実施。	通年		
23	環境美化活動Ⅲ (地域の美化等)	生徒会が中心になって放課後等に実 施する地域の環境美化活動への支援。 (道路清掃等)	1月29日		
24	生涯学習 (教科や部活等)	西横野地区生涯学習運営委員会が中 心になって「西横野地区生涯学習の つどい」の場において南中生徒の日 頃の学習活動の成果を地域の人々に 紹介。(作品展示や発表会への出演 等)	3月4日		今後の主な予定
25	環境美化活動Ⅱ (校内の美化等)	南中のPTA本部役員OB等による 学校の環境美化活動への支援。 (庭木や垣根の剪定等)	3月初旬 (日曜日)		

【学校名：沼田市立白沢中学校】

(1) 運営形態

白沢町学校支援センター（運営形態）



【学校支援の依頼方法】

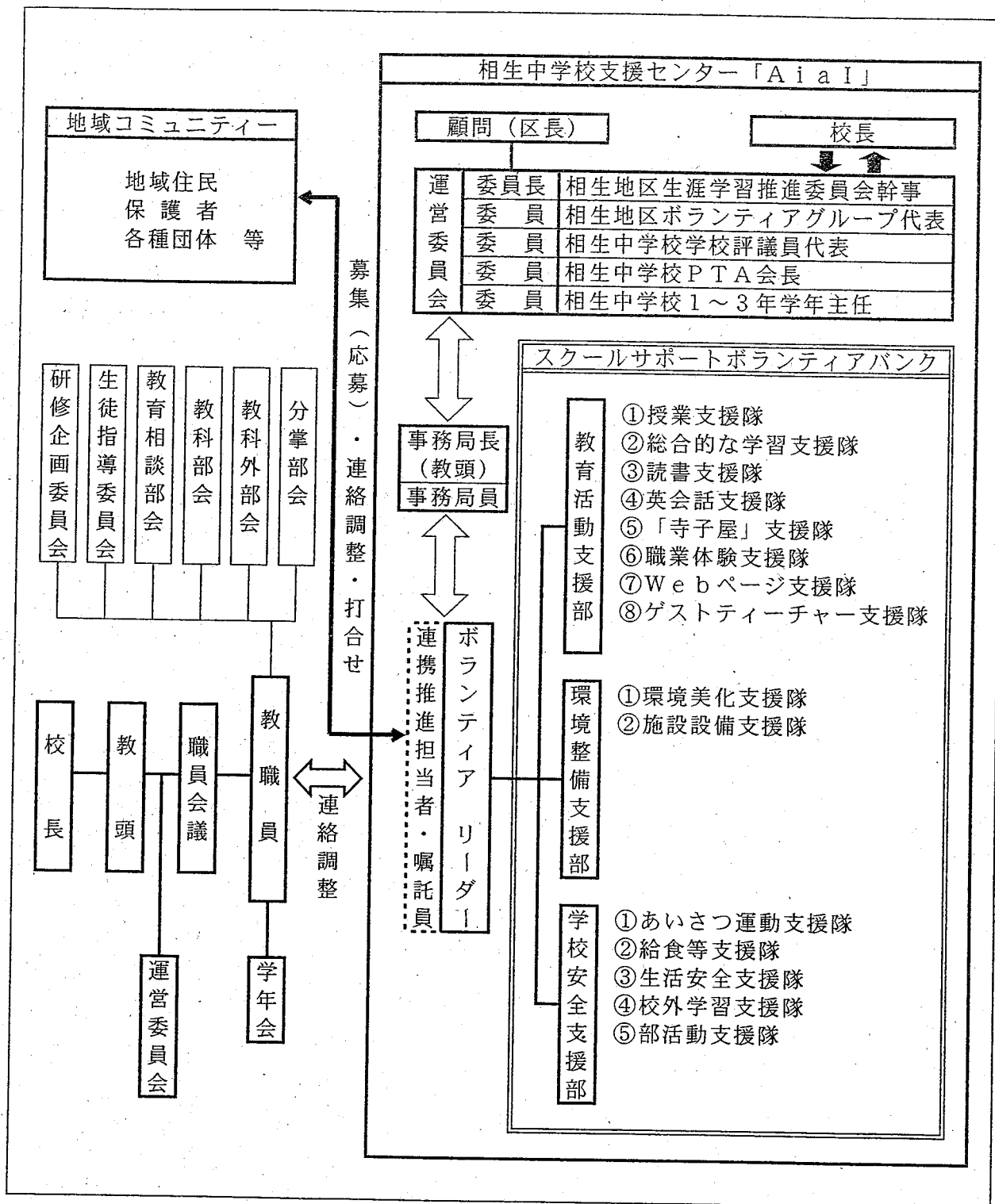
学校の教育活動を支援していただく手順には次の3つがある。① 学校から直接交渉する。② 「結いんぐ」を介して協力を依頼する。③ 嘱託員が仲介する。①は、以前から継続して行っている授業が多い。②・③については、新たな人材や事業所を探し、依頼するときが多い。

(2) 活動内容

〔活用事例〕	〔効果〕
<ol style="list-style-type: none"> 1 職場体験学習の事業所依頼（2年総合） 2 菊づくりの指導・支援（2年総合） 3 環境学習の指導・支援（1年総合） 4 福祉全般に関する講話（2年総合） 5 ボランティア体験の事業所等依頼（2年総合） <ul style="list-style-type: none"> ・福祉作業所での手伝い ・学童保育での手伝い ・校内のペンキ塗り ・町デイサービスセンターでのお年寄りとの交流活動 <ol style="list-style-type: none"> 6 文化祭の体験学習の講師（全校） ・茶道、華道、ちぎり絵、竹細工、うどん打ち、写真、ゲートボール、ギター、アクセサリー 7 職場見学の事業所依頼（1年総合） 8 書写・毛筆の指導（全学年 国語）（半紙） 9 書写・毛筆の指導（全学年 国語）（条幅～書き初めの練習） 10 保育実習の受け入れ（3年家庭科） 11 卒業式の飾り用盆栽の借用依頼（行事） 	<ul style="list-style-type: none"> ○事業の推進によって明らかになったこと 白沢町教育支所内に従来からある白沢町子ども支援センター「結いんぐ」に学校支援センターとしての機能をもたせたことで、学校の教育活動に地域の教育力をスムーズに活用する体制が確立された。 ○ボランティアの活用による生徒の変容 生徒は、外部講師の方に直接指導を受けることで、いつもと違った新鮮な気持ちでより意欲的に楽しく活動することができていた。また、より専門的な知識や技術を習得することができた。 ○教職員や外部講師の反応 (教職員) 外部講師や体験活動に協力していただき、事業所への依頼等の業務がかなり軽減され、教材研究等の教職員本来の職務に専念する時間が確保された。 (外部講師) 毛筆の授業で、手を添えて熱心に指導してくださった講師の方からは、「生徒たちはみな真剣に取り組んでくれました」という感想をいただいた。また、学校で指導することを毎年楽しみにしているといった方もいらっしゃった。

【学校名：桐生市立相生中学校】

(1) 運営形態



(2) 活動内容

〔活用事例〕	〔効果〕
<p><教育活動支援部></p> <p>① 授業支援隊（5名） 1年の音楽科の授業で、5単位時間の補助指導（琴の演奏と演奏指導）を行った。</p>	<p>○ 事業の推進によって明らかになったこと スクールサポートボランティアを活用し、その専門的な知識や技能を生かして学習活動や教育活動を支援してもらう取組を進めることは、生徒の「生きる力」の育成、学校の教育力の質的向上、教育環境の整備・充実に、以下のように</p>

② 読書支援隊（2名）
図書館管理補助員のいない火・木曜日の昼休みに、図書の出し出し、図書の整理などを行っている。

③ 「寺子屋」支援隊（1名）
11月から1月にかけての放課後に、3年生希望者を対象とした数学の補充指導を3回行った。

④ Webページ支援隊（2名）
相生中Webページのデザインや更新作業を随時行っている。

<環境整備支援部>

⑤ 環境美化支援隊（13名）
月に2回40分間程度、除草や落ち葉掃きなど、学校の敷地内外の美化活動を行っている。

<学校安全支援部>

⑥ あいさつ運動支援隊（11名）
月に2回20分間程度、生徒玄関などで朝のあいさつ運動を行っている。

⑦ 生活安全支援隊（42名）
登下校時の交通安全指導、夜間の学校周辺の防犯パトロールを、できる時にできる範囲で随時行っている。

⑧ 校外学習支援隊（9名）
2年の職業体験学習時に、2日間にわたって協力事業所へのあいさつや記録写真の撮影など、引率者の補助を行った。

⑨ 部活動支援隊（1名）
9月から3月にかけて29回、放課後に1時間程度、美術部員への実技指導（デッサン、水彩画、色鉛筆画）を行っている。

な効果があった。

① 授業支援は、生徒の興味・関心の喚起、知識や技能の向上、礼儀作法の定着に効果があった。

② 読書支援は、生徒の読書時間の拡充、読書環境の整備、学校図書館主任の分掌業務の補助に効果があった。

③ 「寺子屋」支援は、数学の基礎的・基本的事項の定着に効果があった。

④ Webページ支援は、開かれた学校づくり（学校から情報発信）の推進、情報教育主任の分掌業務の補助に効果があった。

⑤ 環境美化支援（落ち葉掃き）は、学校敷地内外の環境美化に効果があった。

⑥ あいさつ運動支援は、生徒の基本的な生活習慣の定着に効果があった。

⑦ 生活安全支援は、生徒の規範意識（ルールの遵守、マナーの定着）の向上に効果があった。

⑧ 校外学習支援は、教職員の引率業務の補助、生徒の安全管理に効果があった。

⑨ 部活動支援は、生徒の興味・関心の喚起、知識や技能の向上に効果があった。

○ ボランティア活用による生徒の変容

・保護者や地域住民が、学校（自分たち）のためにボランティア活動を行う姿を間近に見ることで、生徒の心に感謝の気持ちが生まれ、「自分たちも地域の一員として、地域のために何か貢献したい」というボランティア意識や勤労意欲が高まり、生徒会主催による定期的なクリーン作戦が行われるようになった。

・休日に公民館で開催されるイベントにかかわるボランティア募集の案内を生徒に配付したところ、多数の応募があった。

○ 教職員の反応

・教職員のサポートニーズに応じてスクールサポートボランティアを導入したことで、地域的人的教育力を活用することの有効性や必要性を実感するようになった。

・“真に必要としている”スクールサポートボランティアが、学校側の目的や条件を十分理解したうえで、計画的・継続的にかかわってくれることを期待している。

○ 保護者の反応

・地域住民が学校の教育活動を支援している様子を「スクールサポートボランティア便り」などを通して知り、PTA活動以外のかかわり方でも学校に協力できる（ボランティアに応募する）と考える保護者が現れてきた。

・スクールサポートボランティアの活動に携わった保護者からは、「学校での子どもたちの様子が分かるので、たいへんよい」という声が寄せられている。

參考資料

白沢小・中学校保護者のみなさまへ

子ども支援センター「結いんぐ」

学校支援ボランティアの募集について (お願い)

子どもたちの授業に協力してくださる方を募集しています。できる事を、できる範囲で構いません。

子どもたちのために、あなたの知識・経験・時間、そして愛情をお貸し下さい。

①学習支援

教科指導の補助 (家庭科・社会科・国語・総合)

こんにやく作り・ミシン・町たんけん・書写・戦争の体験談・農業の話 など

②学校図書支援

読み聞かせ・図書整理 など

③安全支援

登下校時のパトロール

校外学習の引率 (遠足・キャンプ・尾瀬学習・スキー) など

④環境整備支援

花壇の世話・農園の世話・植木の剪定 など

⑤その他

昔の遊び (竹馬・あやとり・竹とんぼ・お手玉等)・クラブ活動

職場体験・文化祭体験学習 (うどん打ち・陶芸・ゲートボール・ギターなど)

☆お問い合わせ、ご不明な点等がありましたら、

白沢小 (連携推進担当 ○○○○) (囑託員 ○○○○) 53-2151

白沢中 (//) (//) 53-2009

までご連絡ください。

☆今回の申込みは、9月8日 (金) までとさせていただきます。

----- きりとりせん -----

☆学校支援ボランティアに協力します。

(上記の中から番号を選び、具体的な内容についてご記入下さい。上記以外でも、得意分野がありましたらご記入ください。ご家族みなさんで協力をお願いします。)

お名前 _____ 番号 _____ どんなこと _____

お名前 _____ 番号 _____ どんなこと _____

児童・生徒 _____ 年 氏名 _____ 連絡先：電話 _____

*提出して頂いた個人情報は、学校支援に関する事にのみ使用いたします。

学校支援ボランティア年間計画表例

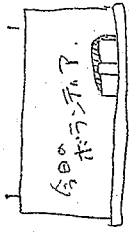
吉井町立吉井西小学校

学習支援ボランティア年間計画表

学年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年	教科等	生活科	生活科				生活科 「あきのほら」	生活科 「かんのあそび」		生活科		
	学習内容		「のはらへどびせう」				「あきのほら」	「かんのあそび」		「むかしのあそび」		
	支援内容		引率補助				引率補助	引率補助		書の遊びについての話や遊び道具の作り方についての説明希望者		
	人数		3				3	3		算数 「長さ」1000より大きい数		
2年	教科等											
	学習内容											
	支援内容											
	人数											
3年	教科等											
	学習内容											
	支援内容											
	人数											
4年	教科等											
	学習内容											
	支援内容											
	人数											
5年	教科等											
	学習内容											
	支援内容											
	人数											
6年	教科等											
	学習内容											
	支援内容											
	人数											
中・高学年	教科等											
	学習内容											
	支援内容											
	人数											

その2. 学校の受け入れ体制を整えよう!

スクールサポーターボランティア受け入れの第2段階は学校内の受け入れ体制の整備です。



① 研修をしよう!

スクールサポーターボランティアについての理解を深めるために、進んで研修に参加したり、校内で研修をしたりしましょう。ボランティアは、学校で活動するために、事前研修を独自に受けていたりします。またそれを子供に伝授していくいろいろな作品作りや公民館等で習ってきたりもしています。先生たちも進んで研修に参加し、認識を深めることが受け入れへの第1歩です。

② 担当者を決めよう!

スクールサポーターボランティアにとつて学校にきたものの誰に声をかけていいのかわからないのが困ります。本校は学社連携の先生がいますが、コーディネーターもできるだけ情報を伝えますので、先生方が今日はこんなボランティアが来る...ということ把握しているといでしょう。また、学社連携をサポートする立場の先生も必要です。(教務や学年主任の先生)

③ 学校が必要とする情報を伝えよう!

学校がどんなボランティアを必要としているかを地域の人は知りません。学校の情報を地域に発信し、どんなボランティアが必要なのかを知ってもらいましょう。そのためにはコーディネーターに必要事項、日時、人数等できるだけ早めに伝えましょう。パンフレットやその行事の冊子なども添付するとより具体的に、必要なボランティアが円滑に扱えます。

④ 学校行事に招待しよう!

日ごろから地域住民やボランティアを学校行事に招待し、参加してもらいましょう。行事を通して子供たちの実態や学校の様子を理解してもらえれば、学校への理解が深まり、先生や子供たちとのコミュニケーションも生まれ、円滑な活動へとつながります。これはお互いのボランティア研修にもなります。

⑤ ボランティア掲示板を見よう!

今日はどんなボランティアが来る、会場はどこ...といったボランティアに関する情報を子供にも先生にもわかるように設置しましょう。学校に来たら目を通しておくといでしょう。玄関に設置してあります。

⑥ ボランティアルームを活用しよう!

ボランティアルームはボランティアの活動準備や後片付けに利用します。また、ボランティア同士が気軽にお茶を飲んだりして情報交換にも便利です。(木崎小は印刷室内にあります。)

⑦ ボランティア証を用意しよう!

スクールサポーターボランティア専用の名札等を用意し、活動中は必ず着用してもらおうようにすると、先生たちや子供たちからも一般の来校者との区別ができます。また、防犯上のことも配慮して着用してもらうことを徹底しましょう。

⑧ ボランティア保険の加入確認をしよう!

追加登録があったときに漏れがちです。時々チェックしましょう。

★コーディネーターから!!

スクールサポーターボランティアは活動に対する思いや考え、また参加する意欲のある人は実績もあります。そんなボランティアと先生方の心がうまくつながっていくことを願っています。以下に示したことはすべてに当てはまるとは限りません。たくさんの方のボランティアに関わってご自分なりに改良することをお勧めします。ボランティアには活用という言葉はあまりありませんが、活用がわかっていよいよその言葉を使いました。使う方と使われる方は対等です。より良いパートナーシップを築くという気持ちで接していただけたらうれしいです。

その1. 先生たち一人ひとりのための5か条

スクールサポーターボランティアを受け入れる第1段階として、先生たち一人ひとりが次のような心の準備をしておくといでしょう。

第1条 スクールサポーターボランティアとのパートナーシップを築きましょう!

スクールサポーターボランティアは「部外者」と思われるのが嫌いです。少しづつでいいですから、一緒に活動をする「関係者」としてお客様扱いをしないようにしてください。そして、共に子供を育てる責任を持った関係者として、対等な立場でより良いパートナーシップを築きましょう。

第2条 笑顔で明るい挨拶をしましょう!

スクールサポーターボランティアにとつても、保護者にとつても、職員室は気軽に出入りできる場所ではありません。そして先生に気づいてもらえない、声をかけてもらえないととても不安になります。そんな時、笑顔で明るい声をかけられると心がほぐれます。お互いに気持ちいい挨拶をかわすことで活動のいいスタートを切りましょう。

第3条 活動に対する感想やコメントを述べましょう!

スクールサポーターボランティアは活動しながら自分自身も学び、向上したいと考えています。そして活動に対する問題意識もなりもっています。ですから活動後には、今後に生かせるようなアドバイスを感想を聞きたいと思っています。求めに応じて、活動の中でよかったことや気づいたこと、工夫してほしいことなどを伝えましょう。

第4条 コミュニケーションの場を持ちましょう!

時間のあるときは一緒にお茶を飲んだりしながら、たくさん世間話しましょう。お互いの思いが伝わったり、地域の情報も入ります。それがスムーズな活動につながります。また信頼関係が生まれることで活動にも広がりや深まりが出てきます。

第5条 子供と一緒にボランティアから学びましょう!

スクールサポーターボランティアは多くの知識や体験を持っています。時には先生も子供と一緒にボランティアから学ぶ体験をしましょう。先生自身の授業にも活用できることがたくさんあります。先生と一緒に聞いていくということもボランティアの張り合いにもなります。

学校支援ボランティアの心得

桐生市立相生中学校学校支援センター

- ◎ 学校に着いたら
 - ・職員室に声をかけましょう。
 - ・前校舎4階の学校支援センターで受付名簿に氏名を書きましょう。
 - ・用意してある名札をつけましょう。
 - ・気持ちよい明るいあいさつをしましょう。
 - ・ユーモアを交え、簡潔に自己紹介しましょう。
 - ・何をするのか、何を伝えたいのか、役割分担をもう一度確認しましょう。
 - ・分からないことは、あらかじめ先生に聞きましょう。

- ◎ 授業や活動では
 - ・子どもに分かるやさしい言葉で話しましょう。
 - ・決められた時間は守りましょう。
 - ・無理のない取組にしましょう。
 - ・いろいろな子どもの考えを認め、誉めてあげましょう。
 - ・子どものプライバシーや知り得た秘密は守りましょう。
 - ・公平に接するようにしましょう。
 - ・ものを売ったり、宗教に勧誘したり、政治的な活動は厳禁されています。
 - ・肉体的、精神的な苦痛を与えてはいけません。
 - ・学校や教職員、他人の悪口は慎みましょう。
 - ・子どもの批判や兄弟姉妹・友人との比較はやめましょう。
 - ・子どもとともに自らも楽しんで活動しましょう。

- ◎ 活動が終わったら
 - ・困ったことや気づいたことは、相談しましょう。
 - ・活動後に、情報交換等をし、次の活動につなげていきましょう。
 - ・活動記録に簡単に活動の様子を記録しましょう。

- ◎ 学校支援ボランティア活動にあたって
 - ・都合で活動に参加できなくなった場合は、学校へ連絡をお願いします。
 - ・授業や活動が予定通り進まない場合に、計画したボランティア活動が実施できないことがあります。そのようなときには、学校から連絡いたします。
 - ・教職員は、職務上知り得た情報をむやみに話すことができないため、知りたいと思われたことがあっても、立場上話すことができないことがあります。

⑧ 学校支援活動記録用紙

学校支援活動記録

安中市立松井田南中学校

学校支援活動名 (教科・単元等)	()	支援活動日時 (会場等)	月 日 () : ~ : ()	
支援者名(連絡先)	(-)	担当教諭		
事前・準備	<p>[教諭]</p> <p>(1) 支援の確認 (2) 支援内容への要望 (3) 活動の展開の検討・確認 (4) 当日までの準備 (5) その他 連絡先 等</p>	<p>[支援者]</p> <p>(1) 支援の確認 (2) 支援内容への要望 (3) 活動の展開の検討・確認 (4) 当日までの準備 (5) その他 連絡先 等</p>	<p>[生徒]</p> <p>(1) 支援活動の説明・支援者の紹介等 (2) 当日までの準備 (3) その他</p>	<p>[備考]</p> <p>(1) 職員への紹介 (2) 関係者への協力依頼 (3) 必要経費の検討・要望・購入 (4) 当日までの日程整理等 (5) その他</p>
	<p>[教諭]</p> <p>(1) 活動内容(学習内容) ○ 導入 ○ 展開 ○ まとめ (2) 支援内容(支援方法)等 (3) その他(留意事項等)</p>	<p>[支援者]</p> <p>(1) 活動内容(学習内容) ○ 導入 ○ 展開 ○ まとめ (2) 支援内容(支援方法)等 (3) その他(留意事項等)</p>	<p>[生徒]</p> <p>(1) 活動(学習)内容等 ○ 導入 ○ 展開 ○ まとめ (2) 支援内容(方法)等 (3) その他</p>	<p>[備考]</p> <p>(1) 支援者の案内 (2) 最終打合せ (3) 支援者へのお礼 (4) 支援後の感想・要望等 (5) その他</p>
	<p>[教諭]</p> <p>(1) 活動(学習等)の流れ (2) 支援内容 (3) 支援方法 (4) 今後の支援活動に向けて (5) その他 資料の添付 等</p>	<p>[支援者]</p> <p>(1) 活動(学習等)の流れ (2) 支援内容 (3) 支援方法 (4) 今後の支援活動に向けて (5) その他 資料の添付 等</p>	<p>[生徒]</p> <p>(1) 活動(学習)等 (2) 支援内容(方法)等 (3) 記録、感想等</p>	<p>[備考]</p> <p>(1) 活動記録の整理 (2) 資料等の整理 (3) 礼状等の発送 (4) 経費の整理・報告等 (5) その他</p>

回覧

元総社北小学校 学校支援センター便り NO. 1

ハナミズキ

平成18年6月1日(木)

今年度、元北小が地域の教育力有効活用推進事業モデル校へ あわせて前橋市教育委員会学校支援寺子屋事業開始

平素より、地域の皆様・保護者の皆様には、元総社北小学校の教育活動に対しまして様々のご支援とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、本年度、元総社北小学校は、群馬県教育委員会より推薦され、『地域の教育力有効活用推進事業モデル校』となりました。これまでの元総社地区の方々对学校に対する熱心なご協力の実績が認められ、今回のモデル校となったものと考えております。

さらに、本年度より前橋市教育委員会が推進する学校支援寺子屋事業(通称『寺子屋』)が始まります。放課後の教室を利用した『寺子屋』では、地域の皆様等に子供たちの学習のお手伝いをさせていただければと考えております。

これらの事業のねらいとしては『地域の皆様等が持っているいろいろな知識や技能、体験などを子供たちの教育に生かし、元北小の児童の学力向上と豊かな心の育成に生かそう』というものです。また、本年度はさらにその活動内容を県下の小中学校へ発信していく予定です。従って、これまでの実績を基にさらなる充実した活動をめざして、進めていきたいと考えておりますので、今後ともご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

これをふまえ、元北小では、職員玄関を右側、西校舎1階の教室を『寺子屋』兼『学校支援センター』として設置し、ここを拠点として様々なコミュニケーションの場としていけたらと考えております。学校と地域の連携担当として、本校教務主任の〇〇〇〇教諭と地域の方々との連絡係として〇〇〇〇嘱託員が担当し、「学校支援センター便り」を発行するなどして、地域の方々等の連携を図っていききたいと考えておりますので、寺子屋及び学校支援センターの運営や内容に關しまして疑問な点やご意見・ご要望等ありましたら、どしどしお寄せください。お待ちしております。

連絡先 元北小【電話番号253-0026; FAX番号253-0013】(担当; 〇〇〇〇)

鼓笛練習支援ボランティア募集

早速ですが、6年生45名の鼓笛練習のお手伝いをお願いできればと思います。

日時: 6/23(金)より、主に金曜日

午後2時30分~3時15分

場所: 音楽室等

楽器: コルネット、トランペット、アルトホルン、トロンボーン、ユーフォonium、スーパフォン、アルトサクソ、テナーサクソ、スネアドラム、クオード、バスターム、シンバル、グロッケン

お問い合わせは

TEL 253-0026 〇〇まで

学校の花 アメリカハナミズキ



タイトルの『ハナミズキ』は、学校の花に指定されているアメリカハナミズキからとりました。

平成3年度 5年生一同制作

学校支援センターだより

中之条町立名久田小学校

平成18年7月7日

No. 1

今春からスタートした「学校支援センター」。おかげさまで、多くの方々にボランティア登録をしていただき、いろいろな場面で学校の教育活動を支援していただいています。

学校では「学校支援センターだより」を学期に1回程度発行して、地域の皆様にも活動の様子を報告していきたいと考えています。

<1学期の活動報告>

その1. 地元農業委員さんとの「ジャガイモ植え」



「いつ頃芽が出るのかな」
「早く食べたいね」



「五種類もあるけど、どんな花が咲くのかな」

その2. 読み聞かせボランティアの活動



最初の打ち合わせ会議では、みなさんから活発な意見が出されました。



毎週金曜日の朝と放課後に実施しています。今からでも参加できます。

その3. 通学路安全ボランティアの活動



その4. 婦人会との連携事業「花植えと給食交流」



通学路安全ボランティアには、現在29名の方々に登録していただいています



サルビアとマリーゴールドをいっしょに植えました。給食は「うどん」でした。

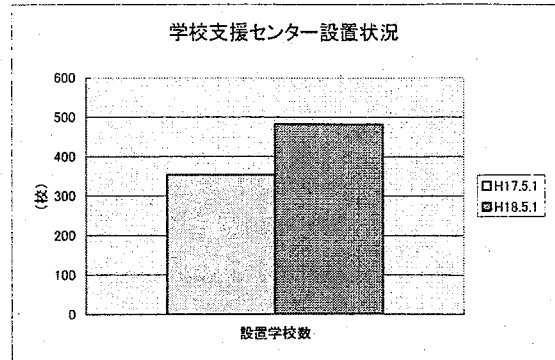
平成18年度 地域の教育力の活用状況

平成18年5月1日現在

(調査対象：市町村立小学校・中学校・養護学校 計520校)

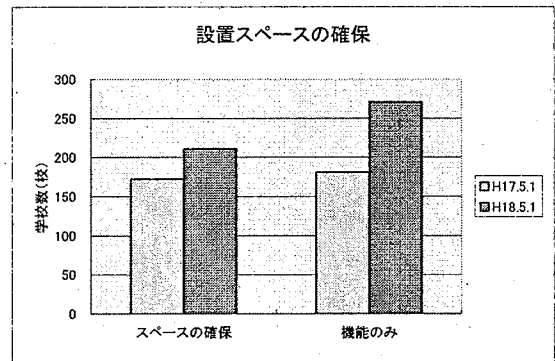
1 学校支援センター設置状況

	設置学校数	設置率
H17.5.1	353	67.9%
H18.5.1	482	92.7%



2 学校支援センター設置スペース (学校数)

	スペースの確保	機能のみ
H17.5.1	172	181
H18.5.1	211	271



3 連携推進担当者設置状況 (学校数)

	校務分掌に位置付けている	割合
H17.5.1	506	97.3%
H18.5.1	509	97.9%

4 連携推進担当者内訳 (人数)

	教頭	教務主任	教務主任外の教諭【授業時数・校務分掌軽減あり】	教務主任外の教諭【授業時数・校務分掌軽減なし】	その他
H17.5.1	98	214	16	188	6
H18.5.1	108	222	22	184	0

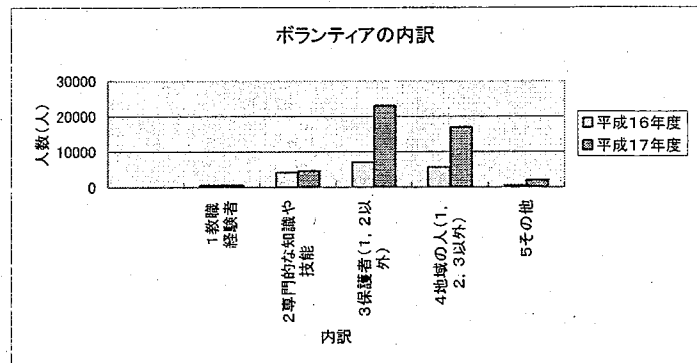
(以下5～7までは、それぞれ平成16年度、平成17年度実績)

5 ボランティアリーダーの育成 (学校数)

	育成できた	割合
平成16年度	135	26.0%
平成17年度	135	26.0%

6 ボランティアの内訳 (人数)

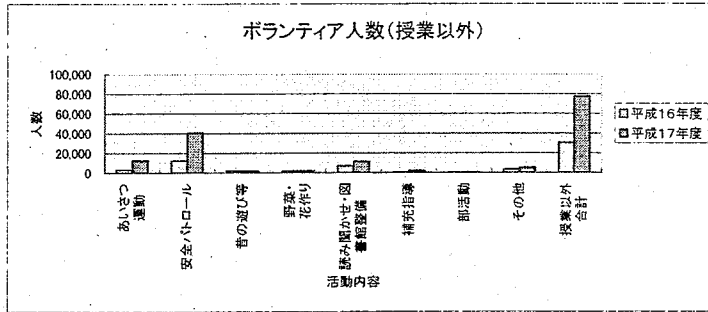
	1 教職経験者	2 専門的な知識や技能	3 保護者(1, 2以外)	4 地域の人(1, 2, 3以外)	5 その他	合計
平成16年度	645	4,184	7,126	5,635	514	18,104
平成17年度	648	4,609	22,962	16,932	1,978	47,129



7 学校におけるボランティアの活用

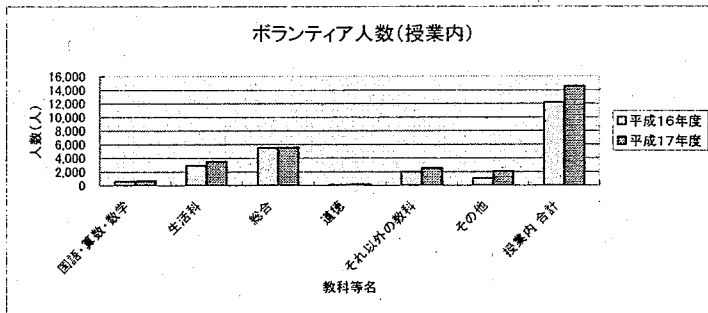
授業以外（人数）

	あいさつ運動	安全パトロール	昔の遊び等	野菜・花作り	読み聞かせ・図書館整備	補充指導	部活動	その他	授業以外合計
平成16年度	3,290	12,342	1,805	1,861	6,935	175	443	3,530	30,381
平成17年度	12,698	40,757	2,099	2,037	11,315	2,306	813	5,406	77,431



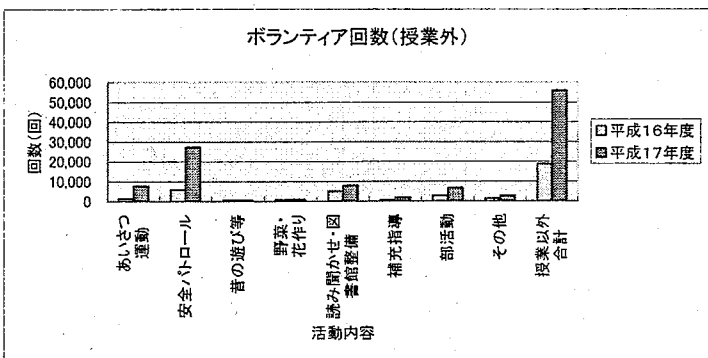
授業内（人数）

	国語・算数・数学	生活科	総合	道徳	それ以外の教科	その他	授業内合計
平成16年度	611	2,936	5,488	102	1,989	1,081	12,207
平成17年度	692	3,536	5,561	204	2,543	2,058	14,594



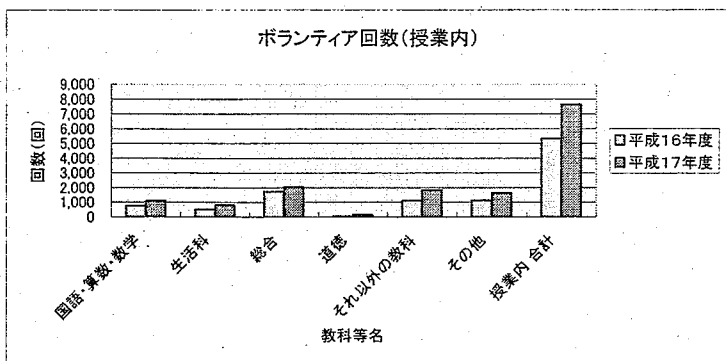
授業以外（回数）

	あいさつ運動	安全パトロール	昔の遊び等	野菜・花作り	読み聞かせ・図書館整備	補充指導	部活動	その他	授業以外合計
平成16年度	1,511	5,921	665	802	5,063	583	2,716	1,361	18,622
平成17年度	7,663	27,398	512	1,032	7,997	1,722	6,854	2,696	55,874



授業内（回数）

	国語・算数・数学	生活科	総合	道徳	それ以外の教科	その他	授業内合計
平成16年度	777	523	1,733	54	1,114	1,137	5,338
平成17年度	1,100	822	2,049	178	1,849	1,652	7,650



* ボランティア活動延べ総数

	延べ人数 総合計	延べ回数 総合計
平成16年度	42,588	23,960
平成17年度	92,025	63,524

8. スクールサポートボランティアバンク設置状況（学校数）

校種	設置している	割合
H17.5.1	464	89.2%
H18.5.1	419	80.6%

9. スクールサポートボランティアバンク設置状況（教育委員会数）

校種	設置している	割合
H17.5.1	19	32.8%
H18.5.1	14	35.9%

10. スクールサポートボランティア登録数（学校：登録人数）

	人	60歳以上 (内数)人
H17.5.1	18,104	4,837
H18.5.1	22,835	6,792

11. スクールサポートボランティア登録数（教育委員会：登録人数）

	人	60歳以上 (内数)人
H17.5.1	3,786	1,482
H18.5.1	8,597	1,565

12. スクールサポートボランティア登録者の内訳（教育委員会：登録人数）

	1 教職 経験者	2 専門的な 知識や技能	3 保護者 (1, 2以 外)	4 地域の人 (1, 2, 3以外)	5 その他
H17.5.1	241	1,125	1,119	1,253	48
H18.5.1	228	1,289	3,393	3,447	240

*この調査は、義務教育課と群馬県総合教育センターが連携して実施しました。

作成 平成19年3月
群馬県教育委員会 義務教育課
〒371-8570
前橋市大手町1-1-1
TEL 027-226-4616

表紙の挿絵はMPCによる。